

データ プロジェクター

取扱説明書

VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526
VPL-SX536

機種の中には、国・地域によって販売されていないものがあります。
ソニーの相談窓口を確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI

目次

はじめに

各部の名前と働き	4
本体	4
接続端子	5
リモコンと操作部	6
インタラクティブペンデバイス （VPL-SW536C/SW526C のみ）	8

準備

接続のしかた	9
コンピューターとの接続	9
ビデオ機器との接続	12
マイクとの接続	14
USB メモリーとの接続	14
外部モニター、オーディオ機器との 接続	15

映像の投写と画面の調整

映像を投写する	16
映像を調整する	18
電源を切る	21

メニューで行う調整と設定

メニューの操作のしかた	22
画質設定	24
画面モード	26
機能設定	30
操作設定	31
接続／電源設定	32
設置設定	35
情報	36

ネットワーク機能

ネットワーク機能を利用する	37
ウェブブラウザでプロジェクターの コントロール画面を開く	37
プロジェクターの状態を確認する	38
プロジェクターを操作する	39
メールレポート機能を利用する	39

インタラクティブ機能

インタラクティブ機能を使用する	41
USB ケーブルでコンピューターと 接続する	43
Windows の場合	44
Mac の場合	46

ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能

ネットワーク経由でのプレゼンテー ション機能を使用する	48
Projector Station for Network Presentation をインストールする	49
Projector Station for Network Presentation を起動する	49
映像を転送する	49
接続設定	50
コントローラーの操作のしかた	51
タブレット端末／スマートフォンか ら画像やファイルを送信して表示 する	51

USB 経由での映像の投写

USB 経由で映像を投写する	52
USB Display を起動する	52
映像を転送する	52
コントローラーの操作のしかた	53

USB Media Viewer 機能

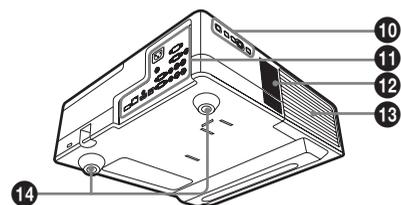
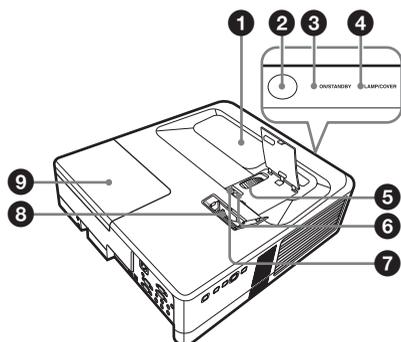
USB Media Viewer 機能を利用する	54
サムネイル表示モード	55
オプションメニュー	55
ディスプレイモード	56
オプションメニュー	56
スライドショーモード	57
オプションメニュー	57

その他

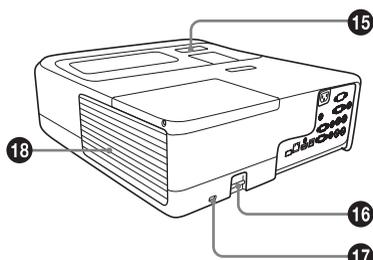
インジケータの見かた	59
メッセージ一覧	60
故障かな?と思ったら	62
ランプを交換する	65
エアフィルターを掃除する	67
仕様	69
投写距離とレンズシフト量	76
寸法図	80
保証書とアフターサービス	82
索引	83

各部の名前と働き

本体



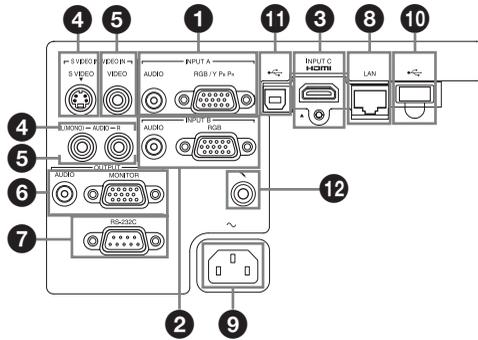
- ① 投写窓
- ② リモコン受光部
- ③ ON/STANDBY インジケーター (59 ページ)
- ④ LAMP/COVER インジケーター (59 ページ)
- ⑤ フォーカスリング (18 ページ)
- ⑥ レンズシフトダイヤルV (18 ページ)
- ⑦ レンズシフトダイヤルH (18 ページ)
- ⑧ ズームレバー (18 ページ)
- ⑨ ランプカバー (65 ページ)
- ⑩ 操作部 (6 ページ)
- ⑪ 接続端子部 (5 ページ)
- ⑫ スピーカー



- ⑬ エアフィルターカバー／吸気口 (67 ページ)
- ⑭ 脚 (19 ページ)
- ⑮ センサー受光窓 (VPL-SW536C/SW526C のみ)
- ⑯ 盗難防止用バー
市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。
- ⑰ 盗難防止ロック
Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。
<http://www.kensington.com/>
- ⑱ 排気口

警告

排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。



入力 (9、12 ページ)

- 1 入力 A (INPUT A)**
映像：RGB / Y Pb Pr 入力端子 (RGB / Y Pb Pr)
音声：音声入力端子 (AUDIO)
- 2 入力 B (INPUT B)**
映像：RGB 入力端子 (RGB)
音声：音声入力端子 (AUDIO)
- 3 入力 C (INPUT C)**
映像：HDMI 入力端子 (HDMI)
音声：HDMI 入力端子 (HDMI)
- 4 S ビデオ (S VIDEO IN)**
映像：S ビデオ入力端子 (S VIDEO)
音声：音声入力端子 (L (MONO) AUDIO/ R)
- 5 ビデオ (VIDEO IN)**
映像：ビデオ入力端子
音声：音声入力端子 (L (MONO) AUDIO/ R)

ご注意

S ビデオとビデオは同じ音声入力を使用します。

出力 (15 ページ)

- 6 出力 (OUTPUT)**
映像：モニター出力端子 (MONITOR)
音声：音声出力端子 (AUDIO)

ご注意

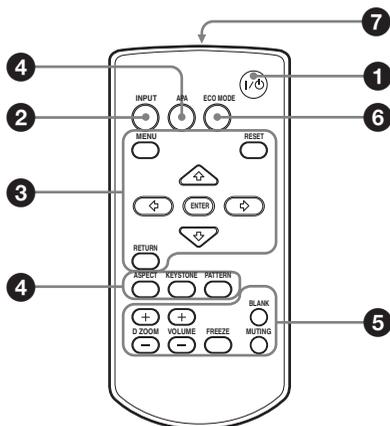
入力 A、入力 B を選択時のみ、投写している映像または音声が出力されます。

その他

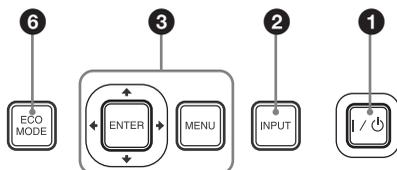
- 7 RS-232C 端子 (RS-232C)**
RS-232C 準拠の制御用端子です。コンピュータの RS-232C 端子と RS-232C ケーブル (クロス) で接続します。
- 8 LAN 端子 (LAN) (37 ページ)**
- 9 電源コンセント (~)**
付属の電源コードを接続します。
- 10 USB 端子 (タイプ A) (14、54 ページ)**
- 11 USB 端子 (タイプ B) (43 ページ、52 ページ)**
- 12 マイク端子 (〰)**

リモコンと操作部

リモコン



操作部



① 電源を入／スタンバイする
I / ⏻ (オン／スタンバイ) ボタン

② 入力を切り換える (16 ページ)
INPUT (入力選択) ボタン

③ メニュー操作などを行う (22 ページ)
MENU (メニュー) ボタン
RESET (リセット) ボタン
ENTER (決定) / ↑/↓/←/→ (矢印) ボタン
RETURN (戻る) ボタン

④ 映像を調整する (18 ページ)
ASPECT (アスペクト) ボタン (26 ページ)
KEYSTONE (台形補正) ボタン (20 ページ)
PATTERN (パターン) ボタン (20 ページ)
APA (オートピクセルアライメント) ボタン* (20 ページ)

ご注意

* RGB 入力端子 (入力 A、入力 B) からコンピューター信号を入力しているときに使用できます。

⑤ 投写中の便利な機能を利用する
D ZOOM (デジタルズーム) + / - ボタン*¹

投写中の映像の一部を拡大します。

1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。

2 ↑/↓/←/→ ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。

3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM - ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。
拡大率は 1 倍から 4 倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

BLANK (映像消去) ボタン

一時的に投写中の映像を消します。もう一度押すと解除します。

消画中はランプ出力を低下させ、消費電力を抑えることができます。

MUTING (消音) ボタン

音声出力時に一時的に音声を消します。もう一度押すと解除します。

VOLUME (音量) +/- ボタン

音量を調整します。

FREEZE (フリーズ) ボタン *2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

ご注意

- *1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。
- *2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。USB (タイプA)、USB (タイプB)、ネットワーク入力選択時は使用できません。

6 簡単に省エネ設定をする

ECO MODE (エコモード) ボタン

「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」の省エネ設定ができます。

- 1 ECO MODE ボタンを押し、ECO モードメニューを表示する。



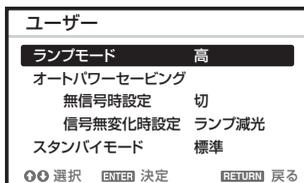
- 2 ↑/↓ ボタンまたはECO MODE ボタンを押し、「ECO」または「ユーザー」モードを選ぶ。

ECO: それぞれの設定を最も省エネになる値 (ランプモード:「低」/ 無信号時設定:「スタンバイ」/ 信号無変化時設定:「ランプ減光」/

スタンバイモード:「低」) に設定します。

ユーザー: ECO 設定を手動で行えます。(手順 3 へ)

- 3 「ユーザー」を選び、▶ ボタンを押す。設定項目が表示されます。



- 4 ↑/↓ ボタンで項目を選択し、ENTER ボタンを押して設定項目を選ぶ。
- 5 ↑/↓ ボタンで設定値を選ぶ。
- 6 ENTER ボタンを押す。元の画面に戻ります。

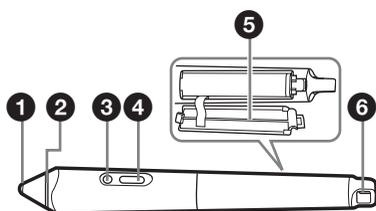
各設定項目の内容について詳細は、接続 / 電源設定メニュー (32 ページ) の「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」をご覧ください。

その他

7 リモコン発光部

リモコンの操作について

- ・リモコン受光部に向けて操作してください。
- ・本体に近いほど、操作可能な角度が広がります。
- ・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。



① ペン先

マウスとして機能します。

② カラーリング

メイン：シアン／サブ：オレンジ

③ インジケーター

ボタンを押したとき、もしくはペン先で画面を押した際に点灯します。電池残量が少ない場合は点滅します。その場合は、電池の交換を行ってください。

④ ボタン

メイン：ペンとマウスの切り替えができます。

サブ：サブペンツールバーが表示されます。

⑤ 電池カバー

電池カバーはベルトにより本体につながられています。カバーを開く際にはベルトが切れないよう注意してください。

⑥ ストラップ取り付け穴

接続のしかた

ご注意

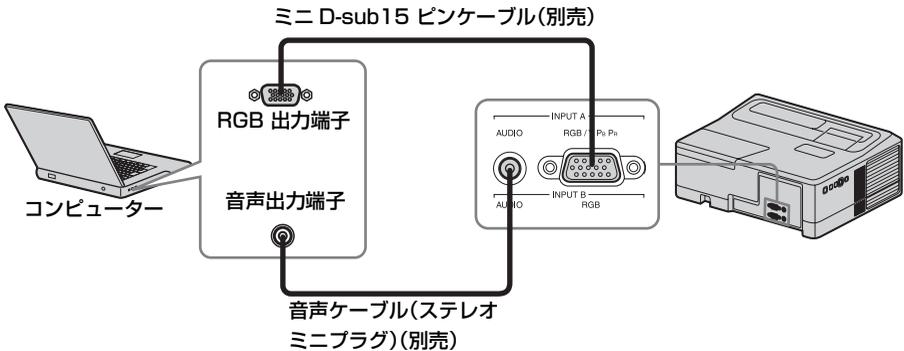
- ・各機器の電源を切った状態で接続してください。
- ・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ・音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

入力 A (INPUT A) / 入力 B (INPUT B)

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。

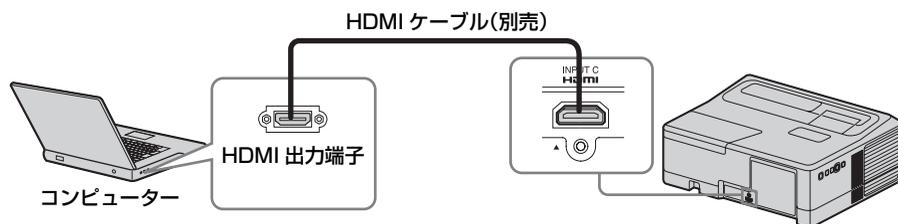


ご注意

コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度を VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526 は 1280 × 800 ピクセル、VPL-SX536 は 1024 × 768 ピクセルに設定することをおすすめします。

入力 C (INPUT C)

HDMI 出力端子付きのコンピューターと接続します。

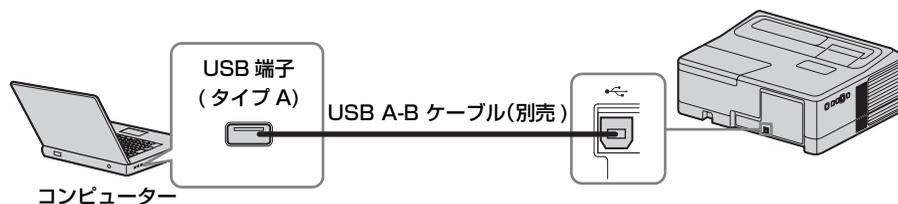


ご注意

- ・ HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

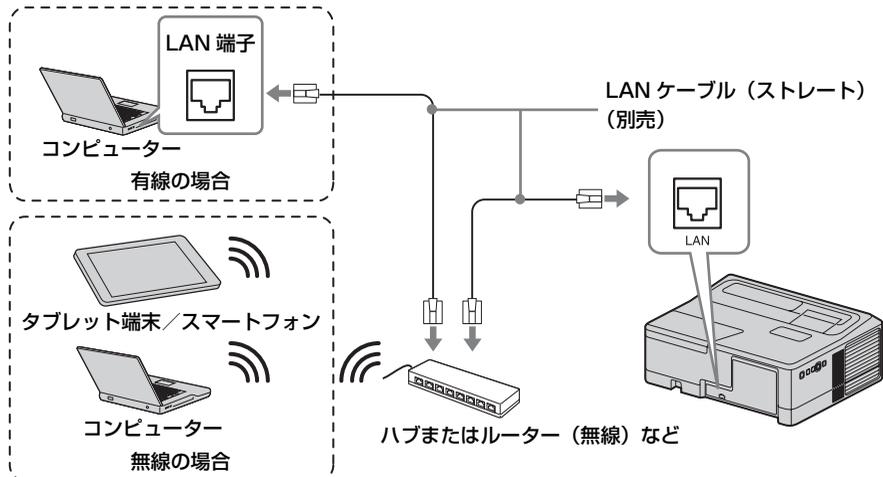
USB 端子 (タイプ B) (←→)

USB 端子付きのコンピューターと接続します。(「USB 経由で映像を投写する」(52 ページ))



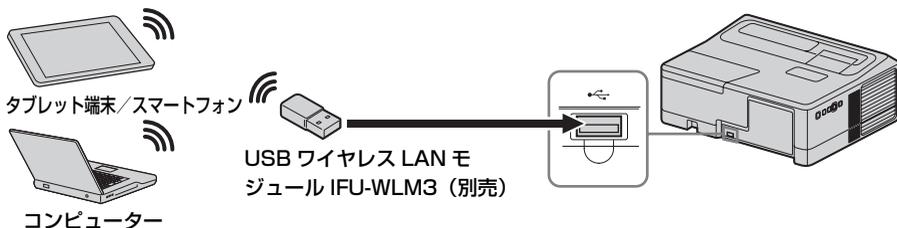
LAN 端子 (LAN)

ハブやルーターを経由して、コンピューター、タブレット端末、スマートフォンと接続します。(「ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能」(48 ページ))



USB 端子 (タイプ A) (←→)

USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3 (別売) と接続します。(「ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能」(48 ページ))



ご注意

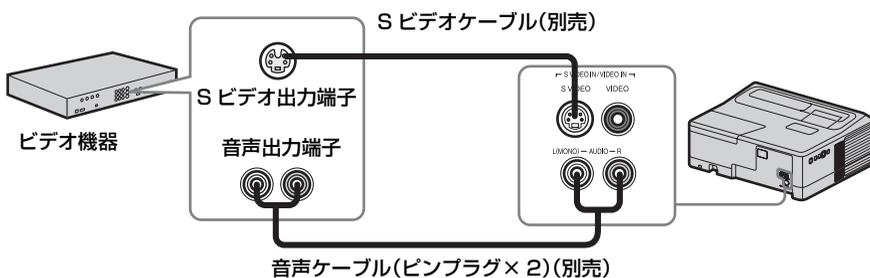
- ・ 指定以外の USB ワイヤレス LAN モジュールは動作しません。
- ・ USB ワイヤレス LAN モジュールを抜き差しする場合には必ずプロジェクターがスタンバイ状態 (スタンバイモード:「低」)、または電源コードを抜いた状態で行ってください。
- ・ タブレット端末/スマートフォンが USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3 (別売) 経由でプロジェクターに無線接続する場合、プロジェクターの「無線 LAN 設定」の「アクセスポイント設定」は「手動」にしてください。(32 ページ)

ビデオ機器との接続

VHS ビデオ、DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

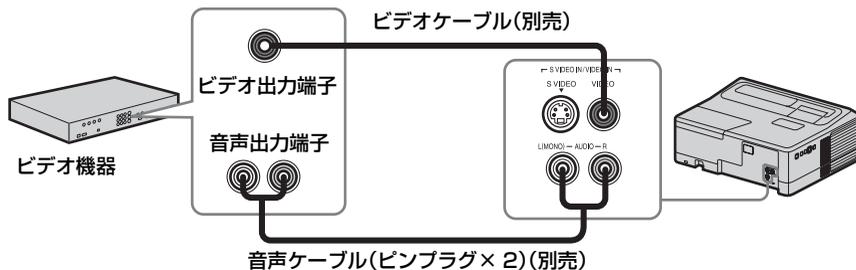
S ビデオ (S VIDEO IN)

S ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



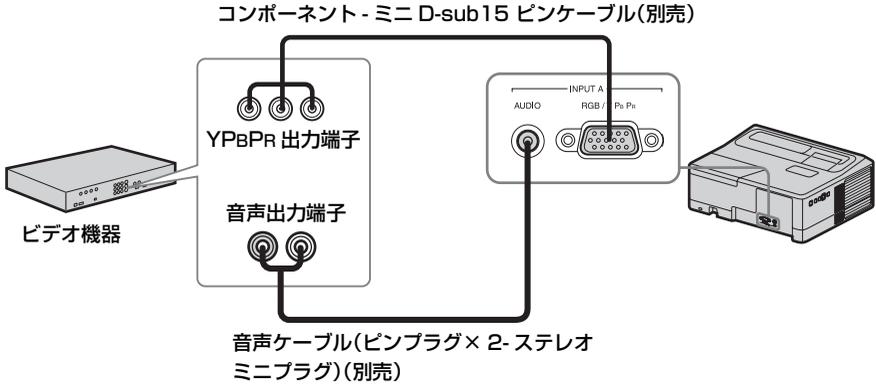
ビデオ (VIDEO IN)

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



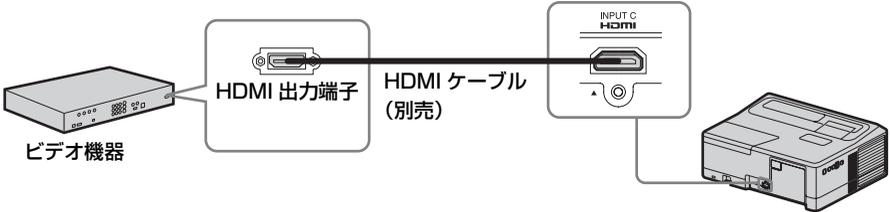
入力 A (INPUT A)

Y Pb Pr 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



入力 C (INPUT C)

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



ご注意

- ・ HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・ 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

マイクとの接続

マイク (🗣)

マイクと接続します。



マイク(別売)

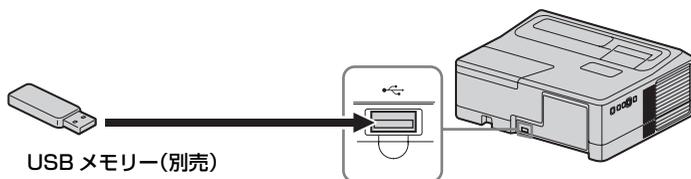
ご注意

マイクはダイナミックマイクのみ使用できます。

USB メモリーとの接続

USB 端子 (タイプ A) (🔌)

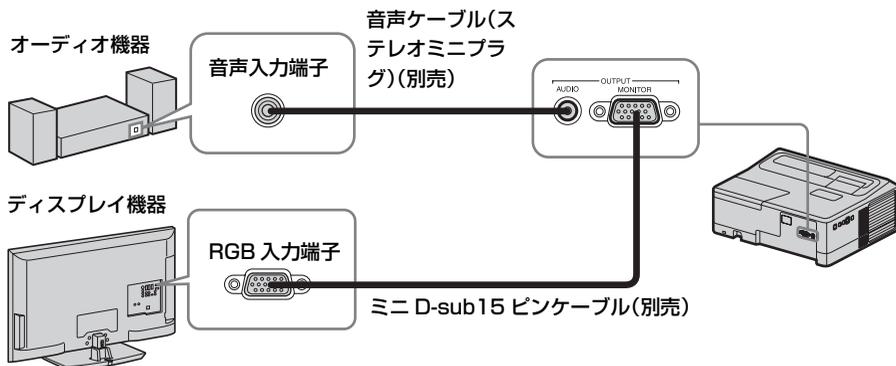
USB メモリーと接続します。(「USB Media Viewer 機能を利用する」(54 ページ))



USB メモリー(別売)

出力 (OUTPUT)

投写中の映像または本機に入力された音声を、モニターなどのディスプレイ機器、またはアンプ内蔵スピーカーなどのオーディオ機器に出力することができます。



ご注意

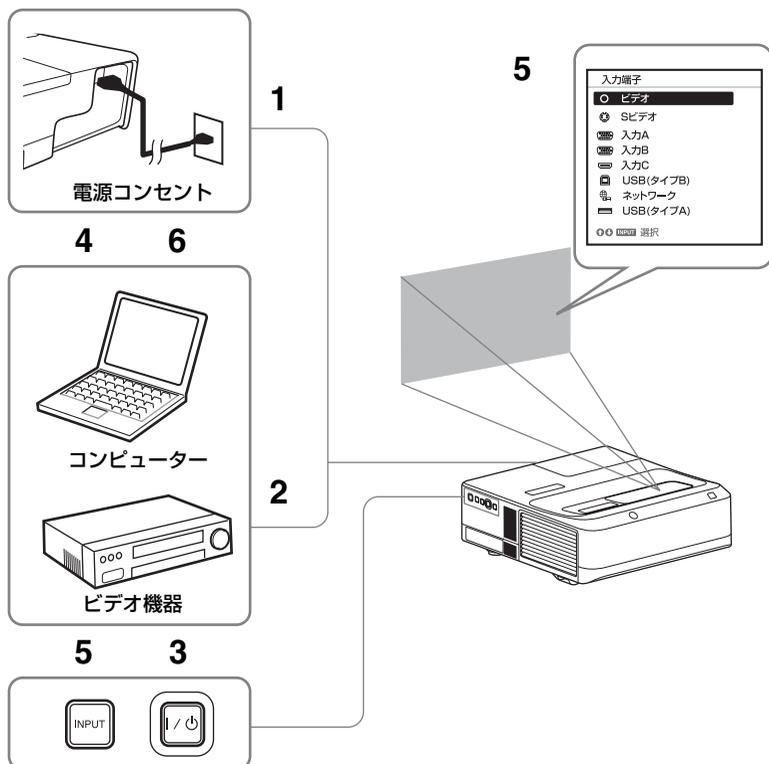
投写している映像または音声が出力されます。

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（76 ページ）をご覧ください。

で注意

- ・ 超短焦点プロジェクターの特性上、投影する面に凹凸があると、画面が波打つ様に見えることがありますが、故障ではありません。
- ・ 画像を投影する際は平坦な面に投影してください。



1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 再生する機器と接続する（9 ページ）。

3 I/O ボタンを押して、電源を入れる。

4 再生する機器の電源を入れる。

5 投写する映像を選ぶ。

本機の INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切換パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押しするか、または ▲/▼ ボタンを押し、投写する映像を選びます。

6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。

(例)

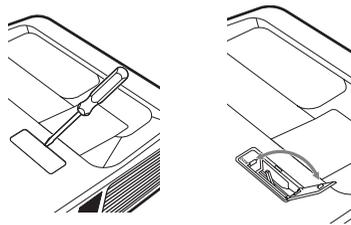


USB メモリー内の写真を投写する場合は、「USB Media Viewer 機能」をご確認ください (54 ページ)。USB 経由で映像を投写する場合は、「USB 経由での映像の投写」をご確認ください (52 ページ)。ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能を利用して映像を投写する場合は、「ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能」をご確認ください (48 ページ)。

7 画面のフォーカス、サイズ、位置を調整する (18 ページ)。

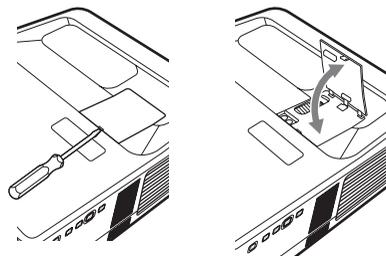
ズームレバーのカバーを開く

マイナスドライバー等を使用して、カバーを開いてください。

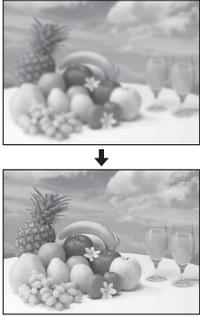
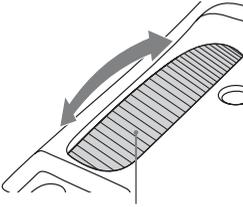
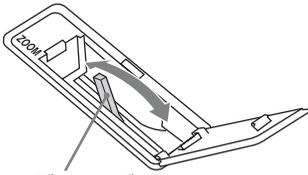


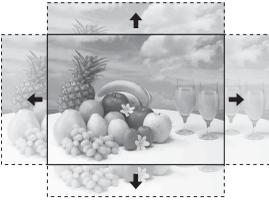
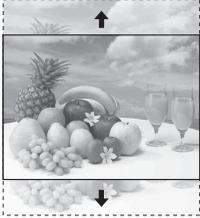
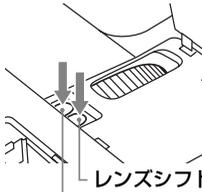
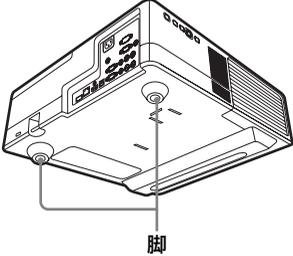
レンズシフトダイヤルのカバーを開く

マイナスドライバー等を使用して、カバーを開いてください。



映像を調整する

画面のフォーカス (フォーカス)	画面のサイズ (ズーム)
	
 <p data-bbox="257 805 420 829">フォーカスリング</p>	 <p data-bbox="666 805 789 829">ズームレバー</p>

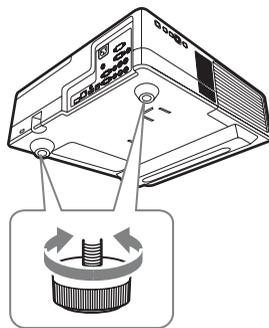
画面の位置 (レンズシフト)	画面の位置
	
 <p>調整の際はマイナスドライバー等で各ダイヤルを回してください。*</p> <p>レンズシフトダイヤルV レンズシフトダイヤルH</p>	 <p>脚</p>

* 指定された量以上に、レンズシフトを調整しないでください。故障の原因となります。詳細は、投写距離とレンズシフト量（76 ページ）をご覧ください。

脚による微調整

脚を回して高さを微調整することができます。

脚を使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。



ご注意

- ・ 脚を調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・ 脚を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。

投写画面の縦横比を変更する

リモコンの ASPECT ボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの画面モードのアスペクトからも設定できます（26 ページ、28 ページ）。

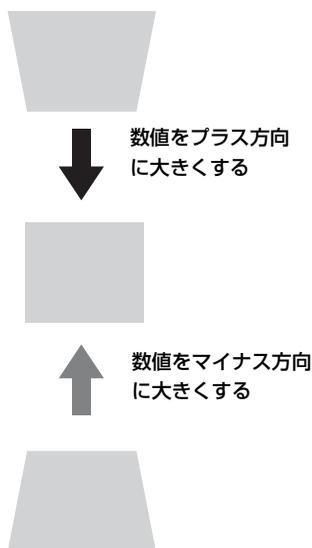
台形になった画面を補正する（キーストーン補正）

画面が台形になった場合は手動でキーストーン補正を行ってください。

- 1 リモコンの KEYSTONE ボタンもしくは設置設定の V キーストーンを選び、調整メニューを表示する。
- 2 ▲/▼/◀/▶ で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

ご注意

- ・キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
- ・レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。



パターンを表示する

リモコンの PATTERN ボタンを押すと、投写画面上に調整用パターンまたは格子パターンを表示することができます。繰り返し PATTERN ボタンを押すと、元の画面に戻ります。格子パターンは、パソコンを使用せずにホワイトボードや黒板に文字や図形を描く際も、補助線として利用します。

ご注意

USB（タイプ A）、USB（タイプ B）、ネットワーク入力選択時は使用できません。

コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント（APA））

リモコンの APA ボタンを押します。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。画面モードからも実行できます（27 ページ）。機能設定のスマート APA で「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します（30 ページ）。

電源を切る

1 本体またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

シャットダウンが開始され、電源がオフされます。10秒以内に I/⏻ ボタンをもう一度押すとすぐに電源がオンの状態に復帰します。

ご注意

ランプ点灯後は、すぐに電源を切らないで下さい。ランプが点灯しないなど、故障の原因になるおそれがあります。

2 電源コードを抜く。

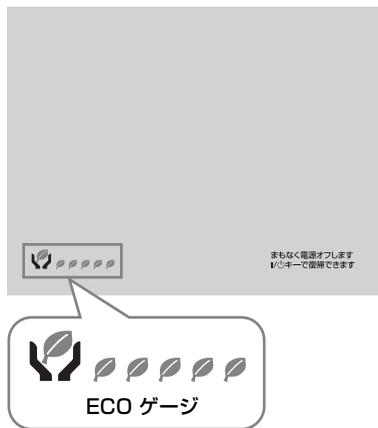
確認メッセージを出さずに電源を切るには

本体の I/⏻ ボタンを数秒間押し続けてください。(60 ページ)

ECO ゲージ

本機の ECO 機能が効果的に活用されたかを表す指標です。

(ECO 機能については、「ECO モードボタン」(7 ページ)、「省エネ設定」(32 ページ)をご覧ください。) ECO 機能の設定により省電力が達成された度合いによって、シャットダウン時に葉マークの枚数で表示されます。



メニューの操作のしかた

ご注意

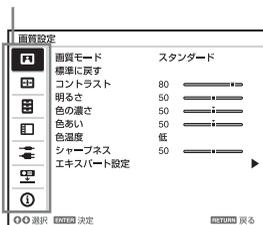
説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

1 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。

2 設定したい設定メニューを選ぶ。

▲/▼ ボタンを押して設定メニューを選び、▶ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

設定メニュー



3 設定したい項目を選ぶ。

▲/▼ ボタンを押して項目を選び、▶ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

◀ ボタンまたは RETURN ボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

設定項目



4 設定項目の設定や調整をする。

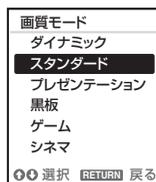
設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、3 の操作方法に従って設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押して設定を確認してください。

◀ ボタンまたは RETURN ボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。また、設定項目を設定、または調整中に RESET ボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

ポップアップメニューの操作：

▲/▼/◀/▶ ボタンで項目を選びます。項目を選ぶとすぐに設定が反映されます。

ただし、「表示言語」に限り、ENTER ボタンを押すまで設定は反映されません。



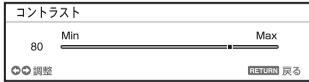
設定メニューの操作：

▲/▼ ボタンで項目を選びます。

ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

調整メニューの操作：

数値を大きくするときは▲/▶ ボタンを押し、数値を小さくするときは▼/◀ ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。



5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

項目	項目説明
画質モード	ダイナミック ：明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 スタンダード ：なめらかな階調の自然な画質になります。 プレゼンテーション^{*1} ：プレゼンテーションに適した明るい画質になります。 黒板 ：黒板投写に適した画質になります。 ゲーム ：ゲームに適した画質になります。 シネマ ：映画鑑賞に適した画質になります。
標準に戻す ^{*7}	画質設定をお買い上げ時の値に戻します。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ ^{*2、*4}	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい ^{*2、*4、*5}	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかります。
色温度 ^{*3}	高/中/低 ：高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
シャープネス ^{*2}	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
エキスパート設定	
フィルムモード ^{*2*6}	オート ：映画フィルム映像を原画に忠実に映像に再現します。通常は「オート」のままお使いください。 切 ：「オート」に設定していて映像の輪郭がギザギザ見えるときに選んでください。
ガンマモード ^{*1*6}	グラフィックス 1 ：中間調が明るめに補正されるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を明るい場所で投写する場合に適しています。 グラフィックス 2 ：中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を自然な諧調で再現します。 テキスト ：白と黒の対比をはっきりさせるガンマ補正曲線を選びます。文字の多い映像に適しています。

ご注意

- *1: コンピューター信号入力時に選択できます。
- *2: ビデオ信号入力時に選択できます。
- *3: 画質モードを「プレゼンテーション」または「黒板」以外に設定している場合に選択できます。
- *4: カラーバースト信号を含まない信号が入力された場合には、選択できません。
- *5: アナログ TV 信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。
- *6: 画質モードを「黒板」に設定している場合は、選択できません。
- *7: 画質モードの値はお買い上げ時の設定に戻りません。

画面モード

入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

項目	項目説明
アスペクト ¹	投写している画面の縦横比が切り換わります。(28ページ)
VPL-SW536C/ SW526C/ SW536/ SW526 : コン ピューター信号入力 時	4 : 3 : 縦横比を 4 : 3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 16 : 9 : 縦横比を 16 : 9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 フル 1 : 入力信号の縦横比を維持して、画面いっぱいに投写します。 フル 2 : 画面いっぱいに投写します。 フル 3 : 入力信号の縦横比を維持したまま、1280 × 720 ピクセルの範囲に縦または横いっぱいに投写します。 ノーマル : 拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
VPL-SW536C/ SW526C/ SW536/ SW526 : ビデオ信 号入力時	4 : 3 : 縦横比を 4 : 3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 16 : 9 : 縦横比を 16 : 9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 フル : 画面いっぱいに表示します。 ズーム : 画像の中心部分を拡大して投写します。
VPL-SX536 : コン ピューター信号入力 時	4 : 3 : 縦横比を 4 : 3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 16 : 9 : 縦横比を 16 : 9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 フル 1 : 入力信号の縦横比を維持して、画面いっぱいに投写します。 ノーマル : 拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
VPL-SX536 : ビデ オ信号入力時	4 : 3 : 縦横比を 4 : 3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 16 : 9 : 縦横比を 16 : 9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 ズーム : 画像の中心部分を拡大して投写します。

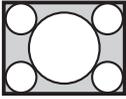
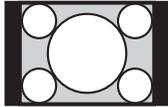
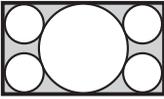
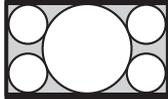
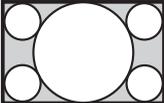
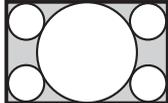
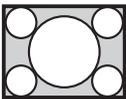
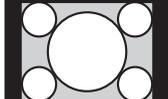
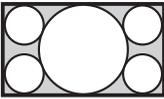
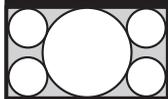
項目	項目説明
入力信号調整	コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていたり、映りが悪い場合に調整します。
APA ^{*2、*3}	ENTER ボタンを押すと画面が最適になるように自動で調整します (6 ページ)。
フェーズ ^{*2}	入力信号と表示画素の位相 (フェーズ) を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
ピッチ ^{*2}	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅 (ピッチ) が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
シフト ^{*4}	H (水平) : 数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 V (垂直) : 数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。

ご注意

- *1: 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- ・ 入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。
- ・ 選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。
- *2: RGB 入力端子 (入力 A、入力 B) から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。
- *3: 投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」を調整してください。
- *4: RGB /Y Pb Pr 入力端子 (入力 A、入力 B) から入力されるコンピューター信号入力時、またはビデオ信号入力時に選択できます。

アスペクトについて

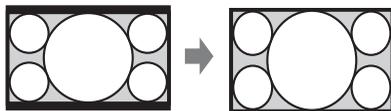
VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526

	入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピュータ信号	「4:3」 	「フル1」*1*2*3 
	「16:9」 	「フル1」*1*2*3 
	「16:10」 	「フル1」*3 
ビデオ信号	「4:3」 	「4:3」*4*5 
	「16:9」 	「16:9」 

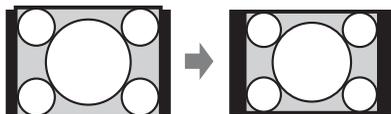
*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



*2:「フル2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



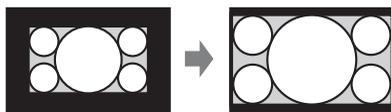
*3:16:9の信号で、スクリーン表示位置を調整した場合、4:3の信号を入力すると、上下がスクリーンからはみ出すことがあります。そのような場合は、「フル3」を選択してください。

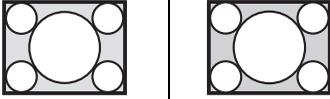
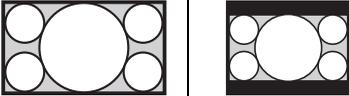
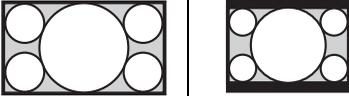
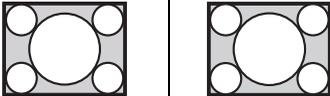
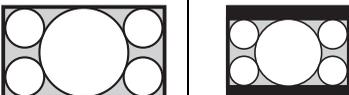


*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



*5:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



	入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピューター信号	「4:3」	「フル1」 ^{*1} 
	「16:9」	「フル1」 ^{*1 *2} 
	「16:10」	「フル1」 ^{*1 *2} 
ビデオ信号	「4:3」	「4:3」 ^{*3} 
	「16:9」	「16:9」 ^{*4} 

*1: 「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



*2: 「4:3」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



*3: 入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



*4: 入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



目 機能設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

項目	項目説明
音量	数値が大きくなると音量が大きくなり、小さくなると音量が小さくなります。
マイク音量	マイク音量を調整します。 ^{*2}
スピーカー	入/切 ：「入」を選ぶと、本機のスピーカーから音がでます。スピーカーから音を出したくない場合は、「切」を選んでください。
スマート APA	入/切 ：「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。 ^{*1}
CC ディスプレイ	CC1 / CC2 / CC3 / CC4 / Text1 / Text2 / Text3 / Text4 ：表示する CC（クローズドキャプション）のサービス（字幕または文字情報）を選択します。 切 ：CC を表示しません。
ランプタイマー初期化	ランプを交換したときにランプタイマーを初期化します。（65 ページ）
スタートアップイメー ジ	入/切 ：「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。

ご注意

^{*1}：RGB 入力端子（入力 A、入力 B）からコンピューター信号が入力された時に APA が実行されます。

^{*2}：音量の設定値に基づき、マイク音量の最大値が決定されます。

□ 操作設定

メニューやリモコンによる操作のための機能を設定します。

項目	項目説明
表示言語	メニューやメッセージなどに使用する言語を設定します。
画面表示	<p>入：すべての画面表示が有効になります。</p> <p>切：メニューの表示、警告メッセージ、お知らせなど以外の画面表示が出なくなります。</p>
セキュリティロック ^{*1}	<p>入／切：パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「入」を選び、ENTER ボタンを押して設定画面を表示する。 MENU、▲／▼／◀／▶、ENTER の6つのボタンを使用してパスワードを入力する。(出荷時は“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています。) MENU、▲／▼／◀／▶、ENTER の6つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。 確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。 <p>パスワードは電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。</p> <p>「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。</p> <p>パスワードの入力に3回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、I／⏻ ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。</p>
操作キーロック	<p>入／切：「入」を選ぶと、操作部での操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作はできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> スタンバイ状態で、I／⏻ ボタンを約10秒押す。 <ul style="list-style-type: none"> →電源が入ります。 電源が入った状態で、MENU ボタンを約10秒押す。 <ul style="list-style-type: none"> →「操作キーロック」が「切」になり、操作部の操作が可能になります。

ご注意

*1：パスワードが分からなくなった場合、本機を使用することができなくなりますので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。(確認方法は、販売国／地域によって異なります。)

🔌 接続／電源設定

接続、電源に関わる機能を設定します。

項目	項目説明
有線 LAN 設定	
IP アドレス設定 ⁹	自動 (DHCP) ：ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 手動 ：手動でネットワークを設定します。
無線 LAN 設定 ¹⁰	
無線 LAN 接続 ⁸	入/切 ：USB ワイヤレス LAN モジュール（別売）の電波出力の有効/無効を設定します。
アクセスポイント設定	オート/手動^{*11} ：アクセスポイントを自動もしくは手動で設定します。
入力 A 信号種別	オート/コンピューター/ビデオ GBR /コンポーネント ：「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。 ^{*1}
省エネ設定	
ランプモード	高/標準/低/オート^{*5*7} ：「高」を選ぶと、映像は明るくなり、消費電力が高くなります。「低」を選ぶと、消費電力が最も少なくなりますが、映像は暗くなります。「オート」を選んだ場合は、入力された映像により輝度が自動調整されます。暗い映像は、輝度を調整して投写することで、省電力につながります。一方、明るい映像は、輝度を調整せず明るく投写します。
オートパワーセービング	
無信号時設定	ランプオフ ：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプを消灯して消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANDBY インジケーターはオレンジ色に点灯します（59 ページ）。 スタンバイ^{*6} ：本体に信号が入力されない状態が約 10 分間続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 切 ：無信号時設定機能を無効にします。

項目	項目説明
信号無変化時設定	<p>ランプ減光^{*4 *5 *7}: 本体に入力されている映像に変化が無い状態が続いた場合 (約 10 秒) に、ランプモードの設定からランプ出力の低減 (約 10% ~ 15%^{*3}) を徐々に行います。また、任意の設定時間 (5分/10分/15分/20分/デモ) の入力信号無変化検出により、自動的に約 30% のランプ出力へ徐々に減光します。また、減光中は「ランプ減光」のお知らせが表示されます。「デモ」を選択した場合、約 40 秒程度で減光を開始します。信号変化または、操作 (リモコン / 操作部) を検出すると、元の明るさに戻ります。</p> <p>切: 信号無変化時設定機能を無効にします。</p>
スタンバイモード ^{*2}	<p>標準/低: 「低」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が少なくなります。</p>
ダイレクトパワーオン	<p>入/切: 「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が「入」になるようになります。電源を切るときは、ダイレクトパワーオンの設定に関わらず、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。</p>

ご注意

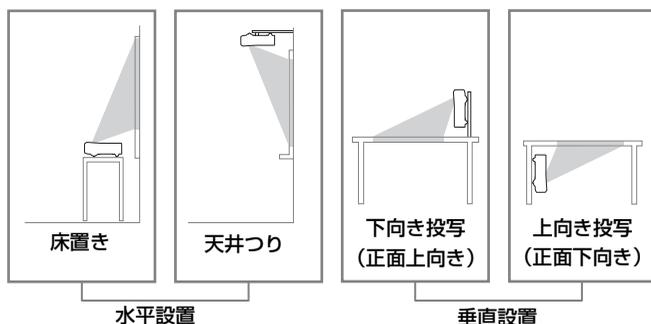
- *1: 入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。
- *2: スタンバイモードが「低」の場合、スタンバイ時にネットワークおよびネットワークコントロール機能は使用できなくなります。
- *3: ランプモードの設定により異なります。
- *4: ランプ減光は、時間をかけて徐々に行われるので、減光されていることに気づかない場合があります。そのため、入力信号が変化して元の明るさに戻ったときに、減光されていたことに気づく場合があります。
- *5: ランプ点灯後、約 3 分間はこのモードは機能しません。また、入力されている映像により信号変化 / 無変化を検出できない場合があります。減光した状態で使用を続けた場合、一定時間毎に明るくなる場合がありますが故障ではありません。無信号時設定が有効の場合は、その動作が優先されます。
- *6: 無入力信号時に自動的にスタンバイ状態にさせたくない場合には、設定を「切」にしてください。
- *7: 「USB (タイプ A)」、「USB (タイプ B)」または「ネットワーク」の入力端子を選んでいるときは動作しません。その場合、ランプモードは「標準」同等になります。
- *8: 無線 LAN 設定の反映には約数十秒かかります。
- *9: IP アドレスを手動で設定する場合は、一度、「手動」に変更し「適用」ボタンを押してから IP アドレスを入力してください。

- *10：タブレット端末／スマートフォンから画像やファイルを送信して表示する（51 ページ）場合、無線のアクセスポイントとして USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3（別売）を使用できます。
- *11：「手動」の工場出荷時の設定は以下のとおりです。
SSID：VPL + 有線 LAN の MAC アドレス
セキュリティー方式：WEP（64bit）
パスワード：sonyl
- 「手動」の設定を変更する場合は、ウェブブラウザで変更してください。
設定を「手動」にした場合、ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能を使用する（48 ページ）ときに「手動接続」を選択し、接続してください。

設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

項目	項目説明
画像反転	上下左右／左右／上下／切：設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
設置角度	床置き／天井つり／下向き投写／上向き投写／画像反転連動：設置角度に応じて冷却設定を変更します。「画像反転連動」を選ぶと、「画像反転」の設定に基づいて冷却設定を変更します。 ^{*1} 誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。



高地モード ^{*2}	入／切：高地（海拔 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
V キーストーン ^{*3}	数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

ご注意

- *1：「画像反転連動」は、水平設置時のみ選択してください。垂直設置の場合は、本機の設置方向に合わせて、必ず「下向き投写」または、「上向き投写」を選択してください。（イラスト参照）
- *2：高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。
- *3：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

i 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
fH（水平周波数）／ fV（垂直周波数） ^{*1}	現在入力されている信号の水平周波数／垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
ランプ使用時間	これまでのランプの使用時間を表示します。

ご注意

*1：入力信号によって表示されない場合があります。

ネットワーク機能を利用する

プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。

- ・ ウェブブラウザを利用してプロジェクターの現在の状況を確認する。
- ・ ウェブブラウザを利用してプロジェクターを遠隔操作する。
- ・ プロジェクターからメールレポートを受け取る。
- ・ プロジェクターのネットワーク設定を行う。
- ・ アプリケーションを使用し、プロジェクターの投写画面上にメッセージを表示する。
- ・ 各種ネットワーク監視、制御プロトコル（Advertisement、PJ Talk、PJ Link、AMX DDDP（Dynamic Device Discovery Protocol）、Crestron RoomView）に対応。

ご注意

- ・ 説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8/9/10 です。
- ・ 表示可能言語は英語のみです。
- ・ コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- ・ メッセージを表示するには、専用のアプリケーション Projector Station for Network Control（バージョン 1.1 以降）が必要です。Projector Station for Network Control に関しては、販売店へお問い合わせください。

ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く

1 LAN ケーブルをつなぐ（11 ページ）。

2 プロジェクターのネットワーク設定を行う。

「接続／電源設定」の「有線 LAN 設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行ってください（32 ページ）。

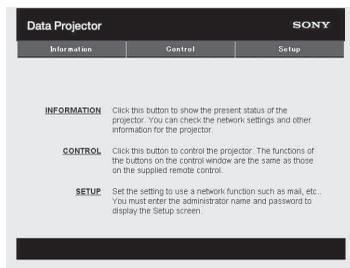
3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し <ENTER> キーを押す。

http://xxx.xxx.xxx.xxx

（xxx.xxx.xxx.xxx：プロジェクターの IP アドレス）

プロジェクターの IP アドレスは、「接続／電源設定」の「有線 LAN 設定」で確認できます（32 ページ）。

ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。



一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順 3 の操作だけでコントロール画面を表示できます。

コントロール画面の操作方法

ページを切り換える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。



ページ切換えボタン

アクセス制限を設定する

各ページの利用者を次のように制限できます。

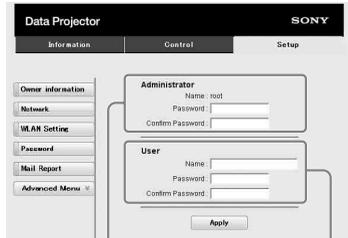
管理者：すべてのページにアクセス可能。

ユーザー：Setup ページ以外にアクセス可能。

Setup ページ内の Password ページから設定します。

初めて Setup ページにアクセスするときは、ユーザー名「root」、パスワード「なし」でアクセスしてください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。



「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

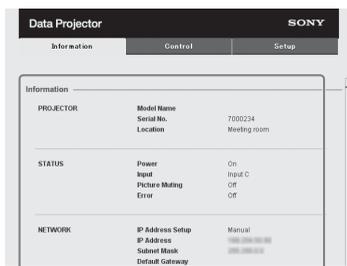
パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

プロジェクターの状態を確認する

Information ページを開くと、プロジェクターの現在の状態を確認できます。



情報エリア

プロジェクターを操作する

Control ページからプロジェクターを操作します。



操作エリア

各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

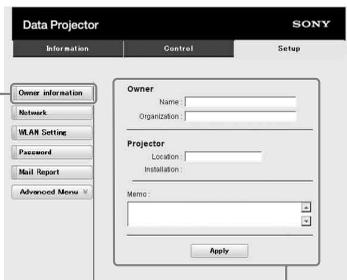
メールレポート機能を利用する

Setup ページからメールレポート機能を設定します。

Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

1 メールレポートに記載される所有者情報を入力する。

Owner information ボタンを押し、メールレポートに記載される所有者情報を入力します。



Owner information
ボタン

2 メールレポートのタイミングを設定する。

Mail Report ボタンを押し、Mail Report ページを開く。

Lamp Reminder (Lamp1) : ランプ交換のためのレポートタイミングを設定します。本体側でランプタイマー初期化を実行するとリセットされます。(30 ページ)

Maintenance Reminder : 任意のメンテナンスのレポートタイミングを設定します。RESET チェックボックスをチェックし、Apply ボタンを押すとリセットされます。

Mail Report ボタン

The screenshot shows the 'Data Projector' configuration interface. The 'Mail Report' section is active. It includes a 'Report Timing' section with fields for 'Maintenance Report', 'Lamp Reminder (Lamp1)', and 'Maintenance Reminder', each with a unit selector (hour or month) and a 'RESET' button. Below this is an 'Address' section with 'TO' and 'CC' fields and 'Report Timing' checkboxes. The 'Mail Account' section contains a 'Mail Address' field, an 'Outgoing Mail Server (SMTP)' field, and radio buttons for 'Requires Authentication'. Under 'Requires Authentication', there are two options: 'Requires the use of POP Authentication before send email (POP before SMTP)' and 'SMTP Authentication'. Each option has fields for 'Account Name' and 'Password'. A 'Blind test mail' checkbox is located below the authentication options. At the bottom of the Mail Account section is a 'View' button. A 'Check the contents of the mail message' button is at the very bottom of the screen. Red numbers 2 through 6 are placed on the left side of the screen to correspond to the numbered steps in the text.

3 送信先メールアドレスを入力する。

Email Address に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックをします。

4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

Mail Address : メールアドレスを入力します。

Outgoing Mail Server

(SMTP) : 送信メールサーバー (SMTP) のアドレスを入力します。

Required Authentication : メール送信に認証が必要な場合にチェックをします。

Requires the use of POP Authentication before send email (POP before SMTP) :

メール送信時に POP 認証を行う場合にチェックをします。

Incoming Mail Server

(POP3) : POP3 認証で 사용되는受信メールサーバー (POP3) のアドレスを入力します。

Account Name : アカウント名を入力します。

Password : パスワードを入力します。

SMTP Authentication : メール送信時に SMTP 認証を行う場合にチェックをします。

Account Name : アカウント名を入力します。

Password : パスワードを入力します。

5 メールレポートの内容を確認する。

View ボタンを押すと、送信されるメールレポートの内容が表示されません。

6 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

ご注意

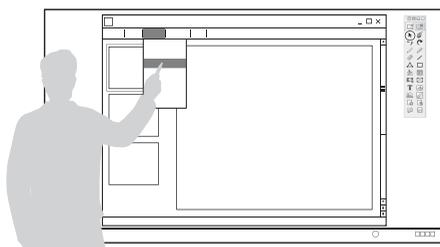
- ・ Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
- ・ 文字列が入力できるボックスに「」」「」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

インタラクティブ機能を使用する

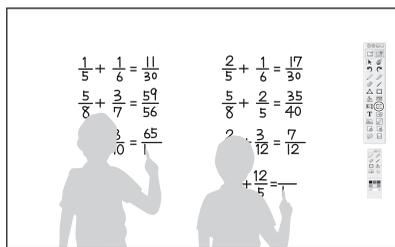
デスクトップモードではインタラクティブペンデバイス（メイン、サブ）とアプリケーション Interactive Presentation Utility 2 を使用することで、プロジェクターを様々な用途において、さらに効果的に使用することができます（VPL-SW536C/SW526C のみ）。

インタラクティブペンデバイスのマウス機能（メインのみ）を使用することで、投写画面上で PC やアプリケーションをマウス同様に操作できます。また、アプリケーションの描画機能を使用することで、マウスの代わりにインタラクティブペンデバイスで投写画面に映し出されたファイル上に直接描き込みし、保存することができます。

デスクトップモード



ホワイトボードモード

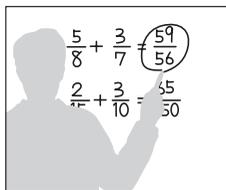


インタラクティブペンのマウス機能（メインのみ）の操作方法

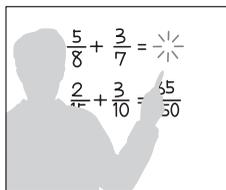
- ・左クリック：ペンでスクリーンを一回タッチする
- ・ダブルクリック：ペンでスクリーンを2回タッチする
- ・ドラッグ アンド ドロップ：ペンでスクリーンをタッチしたまま移動する

Interactive Presentation Utility 2 を起動すれば、インタラクティブペンデバイスを使用することで投写画面上に線や図形などの描画ができます。ホワイトボードモードでは投写画面を電子ホワイトボードとして使用できます。また、背景をお好みの画像やテンプレートから選択することもできます。

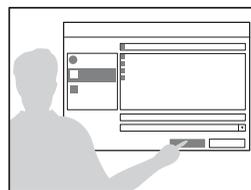
インタラクティブ機能



描く



消す



保存する

インタラクティブペンデバイスのメインとサブを使用すれば、二人同時に描画できます。メインでは全ての機能が使用できますが、サブでは描画機能のみ使用できます。

この機能を使うためにはコンピューターに Interactive Presentation Utility 2 をインストールする必要があります。Interactive Presentation Utility 2 のソフトウェアアップデートについて、詳細はソニーのホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/vpl/support/download/index.html>

ご注意

インタラクティブ機能はペンデバイスの先から発する赤外線 프로젝ター本体の受光窓で感知することで作動します。以下の注意事項を必ず守ってください。

- ・受光窓に直接、蛍光灯の光やその他強い光が差さないようにしてください。
- ・ペン先や受光窓を手や物などで遮蔽しないでください。
- ・他の赤外線通信機器や強いノイズを発生する機器により誤動作、もしくは使用できなくなる場合があります。

キャリブレーションの実行中は、以下の注意事項を守ってください。

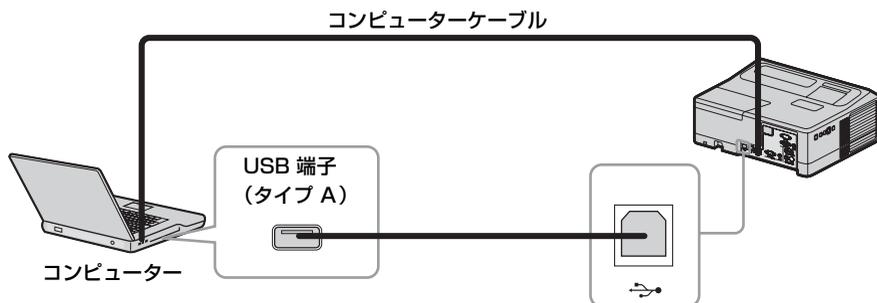
- ・ 프로젝ター本体の受光窓とスクリーンの間には物などを置かないでください。
- ・ 프로젝ターやスクリーンを動かさないでください。

キャリブレーション（自動）が正しく動作しないときは、以下の内容に従って対処してください。

- ・強い光や外光がスクリーンに直接当たらないようにしてください。
- ・周囲を少し暗くした状態で、キャリブレーション（自動）を実行してください。
- ・周囲を少し暗くした状態でもキャリブレーション（自動）が正しく動作しない場合、「キャリブレーション（メイン）」／「キャリブレーション（サブ）」をクリックし、手で調整してください。
- ・白色ではないスクリーンを使用した場合、キャリブレーション（自動）が実行できないおそれがあります。

USB ケーブルでコンピューターと接続する

本機とコンピューターがコンピューターケーブルで接続されていることを確認してください。コンピューターケーブルの接続について詳しくは「接続のしかた」(9ページ)をご覧ください。



Interactive Presentation Utility 2 をインストールする

動作環境

- ・ CPU : Celeron 2.1GHz 相当以上
- ・ メモリー : 256MB 以上 (512MB を推奨)
- ・ ハードディスクの空き容量 : 1GB 以上
- ・ 対応 OS :
Windows XP/Vista/Windows7*1/Windows 8*1
*1 : 32 ビット版 / 64 ビット版

1 起動中のアプリケーションを全て終了する。

2 CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットし、CD-ROM 内の「Interactive Presentation Utility 2.exe」を開く。

3 ウィザードの指示に従ってアプリケーションをインストールする。

Interactive Presentation Utility 2 をアンインストールするには、[スタート][すべてのプログラム]-[Interactive Presentation Utility 2]-[Uninstall]を選んでください。

Interactive Presentation Utility 2 を起動する

[スタート][すべてのプログラム]-[Interactive Presentation Utility 2]-[Interactive Presentation Utility 2]を選んでください。

Interactive Presentation Utility 2 が起動するとタスクバーにアイコンが表示され、画面上にツールバーが表示されます。



タスクバー

プロジェクターとコンピューター接続時



プロジェクターとコンピューター未接続時



キャリブレーション（自動／手動）

キャリブレーションは、ペン（メイン、サブ）で指した点と、プロジェクター画面上のカーソルがある点の位置をそろえます。「キャリブレーション（自動）」では、自動的にキャリブレーションを実行できます。

メインペンのツールバー



- ① キャリブレーション（自動）
- ② キャリブレーション（メイン）
- ③ キャリブレーション（サブ）

「キャリブレーション」をクリックし、「キャリブレーション（自動）」を選びます。キャリブレーションが自動的に開始されます。

インタラクティブペンデバイスで操作する

インタラクティブペンデバイスで、画面に表示されているツールバーの機能を使用できるようになります。詳細は、Interactive Presentation Utility 2 のユーザーガイドをご覧ください。

Interactive Presentation Utility

2 を終了する

Dock 上のアイコンをクリックしてポップアップメニューを表示し、「終了」を選択してください。

Interactive Presentation Utility 2 をインストールする

動作環境

- ・ CPU : Pentium III 相当以上
- ・ メモリー : 256MB 以上 (512MB を推奨)
- ・ ハードディスクの空き容量 : 250MB
- ・ 対応 OS : OS X 10.6 またはそれ以降

インタラクティブ機能を使用するためには Interactive Presentation Utility 2 のインストールが必要です。

- 1 起動中のアプリケーションを全て終了する。**
- 2 CD-ROM 内の [Interactive Presentation Utility 2.pkg] を開く。**
- 3 画面の指示に従ってアプリケーションをインストールする。**

Interactive Presentation Utility 2 をアンインストールするには、アプリケーションフォルダの [Interactive Presentation Utility 2] フォルダをゴミ箱に移動し、ゴミ箱を空にしてください。

アプリケーションを起動すると Dock にアイコンが表示され、画面上にツールバーが表示されます。



Dock



Interactive Presentation Utility 2 のアイコン

Interactive Presentation Utility 2 を起動する

[アプリケーション] - [Interactive Presentation Utility 2] を開き、[Interactive Presentation Utility 2.app] をダブルクリックする。

キャリブレーション (自動/手動)

キャリブレーションは、ペン（メイン、サブ）で指した点と、プロジェクター画面上のカーソルがある点の位置をそろえます。

「キャリブレーション (自動)」では、自動的にキャリブレーションを実行できます。

メインペンのツールバー



- ① キャリブレーション (自動)
- ② キャリブレーション (メイン)
- ③ キャリブレーション (サブ)

「キャリブレーション」をクリックし、「キャリブレーション (自動)」を選びます。キャリブレーションが自動的に開始されます。

インタラクティブペンデバイスで操作する

インタラクティブペンデバイスで、画面に表示されているツールバーの機能を使用できるようになります。詳細は、Interactive Presentation Utility 2 のユーザーガイドをご覧ください。

Interactive Presentation Utility

2 を終了する

Dock 上のアイコンをクリックしてポップアップメニューを表示し、「終了」を選択してください。

ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能を使用する

ネットワーク経由でプレゼンテーション機能を使用することで、以下のことができます。

- ・ プロジェクターに最大8台のコンピューターを同時に接続する。
- ・ 最大4台のコンピューターから同時に映像を投写する。
- ・ USB ワイヤレス LAN モジュール（別売）を利用する場合、プロジェクターに最大7台のコンピューターを同時に接続することができます。

ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能を利用するためには、付属の CD-ROM に収録されているアプリケーション Projector Station for Network Presentation をコンピューターにインストールする必要があります。Projector Station for Network Presentation のソフトウェアアップデートについて、詳細はソニーのホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/vpl/support/download/index.html>

以下はアプリケーションの使用に必要な動作環境です。

OS

WindowsXP : Home/Professional (推奨)

WindowsVista : Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise

Windows7 : Home Premium/Professional (推奨) /Ultimate/Enterprise

CPU

Pentium4 2.8GHz 以上

ご注意

- ・ アプリケーションをインストールする場合には、管理者権限が必要です。
- ・ 管理者権限がない場合は、アプリケーションが正常に動作しない場合があります。
- ・ ファイアウォールやセキュリティソフトなどがインストールされている場合は、アプリケーションが正常に動作しない場合があります。
- ・ ネットワークアダプタのドライバのバージョンによっては、アプリケーションが正常に動作しない場合があります。
- ・ メディアプレーヤーなどの動画再生ソフトは正常に表示できない場合があります。

Projector Station for Network Presentation をインストールする

- 1 起動中のアプリケーションを全て終了する。
- 2 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する。
- 3 CD-ROM 内の .exe ファイルをクリックする。
ユーザーアカウント制御が表示される場合には、「許可」あるいは「はい」をクリックしてください。
- 4 ウィザードの指示に従ってアプリケーションソフトウェアをインストールする。

Projector Station for Network Presentation を起動する

- 1 プロジェクターをネットワークに接続する。
有線 LAN を使用する場合は、本機を LAN ケーブルで接続し、ネットワーク設定を行ってください。(37 ページ)
無線 LAN を使用する場合は、「LAN 端子 (LAN)」(11 ページ) または「USB 端子 (タイプ A) (•) 」(11 ページ) をご覧下さい。また、無線 LAN の設定を確認してください。(32 ページ)

2 プロジェクターを起動する。

投写する映像として「ネットワーク」を選択してください (16 ページ)

3 Projector Station for Network Presentation を起動する。

コンピューター上で [スタート] [すべてのプログラム] [Projector Station for Network Presentation] を選択してください。

映像を転送する

Projector Station for Network Presentation を起動すると、接続設定画面が表示されます。

1 ネットワークに接続されているプロジェクターを検索する。

接続設定画面の「検索」をクリックし、プロジェクターを検索します。



ご注意

- ・アプリケーションの画面は予告なく変更されることがあります。
- ・プロジェクターが無線 LAN でネットワークに接続されている場合、「SSID」をお買い上げ時の設定から変更すると、

検索で見つからない場合があります。

- ・プロジェクターが有線 LAN でネットワークに接続されている場合、ネットワークの環境により検索で見つからない場合があります。
- ・「無線 LAN 設定」の「SSID」と「セキュリティ方式」、「ワイヤレスパスワード」を変更しているプロジェクターに接続する場合には、手動接続を選択し、接続を行なってください。

2 映像転送先のプロジェクターを選択する。

チェックボックスをチェックしてください。

3 「接続」をクリックする。

他のユーザが映像を転送している場合には、画面にコントローラーが表示されます。をクリックすると映像の転送を開始します（51 ページ）。

他のユーザーが映像を転送していない場合は、画面にコントローラーが表示され、映像の転送を開始します。

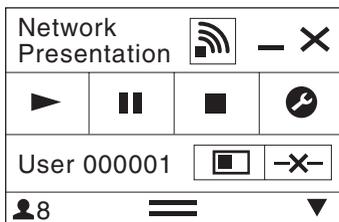
ご注意

アプリケーションを起動すると、パソコンの解像度など表示に関する設定が変更されます。

接続設定

項目	説明
無線 LAN アダプタ	Projector Station for Network Presentation で利用する無線 LAN アダプタを選択します（無線接続時のみ表示されます）。
接続履歴	今までに接続したことがあるプロファイルを表示します。
検索結果	検索結果を表示します。
プロファイル名	ネットワーク上で検出されたプロジェクターの登録名称を表示します。
接続方式	接続方式（無線／有線）を表示します。
	電波強度を表示します（無線接続のみ）。
SSID	SSID を表示します（無線接続のみ表示されます）。
IP アドレス	IP アドレスを表示します（有線接続のみ表示されます）。
検索	プロジェクターの検索を開始します。
削除	選択したプロファイルを削除します。
プロパティ	選択したプロファイルのプロパティを表示します。
接続	選択したプロジェクターに接続し、転送を開始します。
手動接続	SSID や IP アドレスを手動で入力してプロジェクターに接続し、転送を開始します。

コントローラーの操作のしかた



項目	機能	
	転送を開始します。	
	転送を一時停止します。	
	転送を停止します（黒画面となります）。	
	アプリケーションの設定を変更します。	
	プロジェクターとの接続を切断します。	
	画面表示状態を指定し、転送を開始します。	
画面表示状態		映像を転送しません。
		映像を全画面で転送します。
		映像を2画面左で転送します。
		映像を2画面右で転送します。
		映像を4画面左上で転送します。
		映像を4画面右上で転送します。
		映像を4画面左下で転送します。
		映像を4画面右下で転送します。
	現在の電波強度を表示します。	

項目	機能
	プロジェクターに接続しているユーザー数を表示します。
	他のユーザーの状態を表示します。

タブレット端末／スマートフォンから画像やファイルを送信して表示する

専用のアプリケーションを使用することで、タブレット端末／スマートフォンに保存した JPEG 画像や PDF ファイルなどのワイヤレス投写ができます*1。アプリケーションのダウンロード*2や詳しい使用方法は、以下の URL を参照してください。

<http://PWPresenter.pixelworks.com>



- *1：アプリケーションの使用には、以下のうちいずれかが必要です。
- ・無線接続が可能なネットワークに接続されている（11 ページ）。
 - ・USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3（別売）をプロジェクターに接続してネットワークに無線接続する（11 ページ）。
- *2：インターネットへのアクセス手段によりデータ通信料が発生する場合があります。

USB 経由で映像を投写する

USB A-B ケーブル (別売) でプロジェクターとコンピューターを接続することで、映像を投写することができます。

USB 経由で映像を投写するためには、USB Display を起動する必要があります。

以下はアプリケーションの使用に必要な動作環境です。

OS

WindowsXP : Home/Professional (推奨)

WindowsVista : Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise

Windows7 : Home Premium/Professional (推奨) /Ultimate/Enterprise

CPU

Pentium4 2.8GHz 以上

USB Display を起動する

- 1 プロジェクターとコンピューターを USB A-B ケーブル (別売) で接続する (10 ページ)。
- 2 プロジェクターを起動する。
投写する映像として「USB (タイプ B)」を選択してください (16 ページ)。しばらくすると、本機が CD-ROM ドライブとして認識されます。
- 3 CD-ROM ドライブ内の「USB Display」を開く。

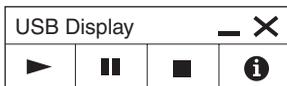
ご注意

- ・アプリケーションを起動すると、パソコンの解像度が自動的に変更されます。
- ・パソコンの設定によっては、アプリケーションが自動的に起動することがあります。
- ・終了時に「ハードウェアの安全な取り外し」を実行せずに、ケーブルを抜いてください。
- ・メディアプレーヤーなどの動画再生ソフトは正常に表示できない場合があります。

映像を転送する

USB Display を起動すると、画面にコントローラーが表示され、映像の転送を開始します。

コントローラーの操作のしかた



項目	機能
	転送を開始します。
	転送を一時停止します。
	転送を停止します（黒画面となります）。
	アプリケーションの情報を表示します。

USB Media Viewer 機能を利用する

本機の USB 端子 (タイプ A) に接続した USB 記録メディア内の画像ファイルを、コンピューターを経由せずに投写することができます。

対応記録メディアとファイル形式

- ・ 対応記録メディア：USB フラッシュメモリー
- ・ 対応記録メディアフォーマット：FAT 形式
- ・ 対応ファイル形式：JPEG (.jpg/jpeg)、Bitmap (.bmp)、PNG (.png)、GIF (.gif)、TIFF (.tif/tiff)

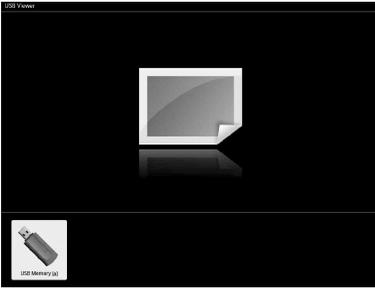
ご注意

- ・ exFAT、NTFS には対応していません。
- ・ EXIF 情報を含む TIFF ファイルには対応していません。
- ・ USB ハブを経由してプロジェクターに接続された USB メモリー内の画像ファイルは、表示できない場合があります。
- ・ セキュリティ付き USB メモリーは正常に動作しない場合があります。
- ・ 複数のドライブとして認識される USB メモリーカードリーダーは正常に動作しない場合があります。
- ・ ファイルサイズが 4092 × 3072 ピクセルよりも大きい画像の表示は保証しません。表示に時間がかかったり、表示できない場合があります。
- ・ フォルダが深いフォルダ階層を含む場合やフォルダ名が長い場合、フォルダが表示されない場合があります。
- ・ 画像の種類によっては表示できない場合があります。
- ・ フォルダ名およびファイル名に英数字以外が使用されている場合は、表示できない場合があります。
- ・ 画像を表示している時に USB メモリーを抜かないでください。USB メモリーおよびプロジェクターの故障の原因となります。USB メモリーは USB Media Viewer の USB メモリー 選択画面で抜いてください。

1 USB メモリーをプロジェクターに接続する (14 ページ)。

2 投写する映像として「USB (タイプ A)」を選択する (16 ページ)。

3 USB メモリーを選択する。

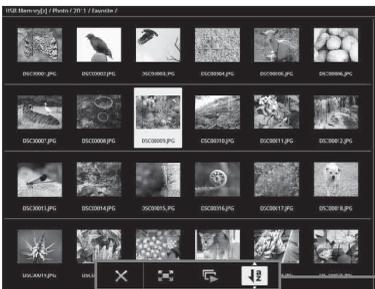


ENTER ボタンを押すとサムネイルモードが表示されます。

USB Media Viewer には「サムネイル表示モード」、「ディスプレイモード」、「スライドショーモード」の3つの表示モードがあります。

サムネイル表示モード

フォルダ内の画像が一覧で表示されます。



オプションメニュー

リモコンの $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ボタンで画像を選択し、ENTER ボタンを押すと、スクリーン下部にオプションメニューが表示されます。

オプションメニュー

サムネイルの表示順序や画像の表示方法を設定します。

項目	項目説明
	オプションメニューを非表示にします。
	ディスプレイモードに切り替わり、選択中の画像を全画面で表示します。(56 ページ)
	スライドショーモードに切り替わり、選択中の画像からスライドショーを開始します。(57 ページ)
	画像を並び替えます。

項目	項目説明
----	------

画像の並び替え	
---------	--

- | | |
|---|---------------|
|  | 名前の昇順で並び替えます。 |
|  | 名前の降順で並び替えます。 |
|  | 日付の昇順で並び替えます。 |
|  | 日付の降順で並び替えます。 |

ご注意

- ・アプリケーションで作成した画像など、サムネイルデータがないファイルは、空白のアイコンが表示されます。
- ・1つのフォルダ内では、ファイルとフォルダが200個までしか表示できません。

ディスプレイモード

ディスプレイモードでは画像を全画面表示で閲覧することができます。



オプションメニュー

リモコンの ENTER ボタンを押すと、スクリーン下部にオプションメニューが表示されます。

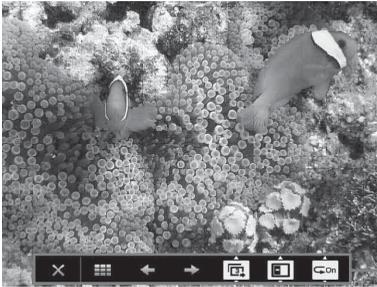
オプションメニュー

項目	項目説明
----	------

- | | |
|---|---|
|  | オプションメニューを非表示にします。 |
|  | サムネイル表示モードに戻ります。(55 ページ) |
|  | 画面を反時計周りに回転します。 |
|  | 画面を時計周りに回転します。 |
|  | スライドショーモードに切り替わり、選択中の画像からスライドショーを開始します。(57 ページ) |
|  | 前の画像を表示します。 |
|  | 次の画像を表示します。 |

スライドショーモード

スライドショーモードでは画像をスライドショーで閲覧することができます。



オプションメニュー

リモコンの ENTER ボタンを押すと、スライドショーが一時停止し、スクリーン下部にオプションメニューが表示されます。

オプションメニュー

項目	項目説明
	オプションメニューを非表示にします。
	サムネイル表示モードに戻ります。(55 ページ)
	前の画像を表示します。
	次の画像を表示します。
	▲/▼ ボタンを押し、スライドショーのスライド切替時間を変更します。

スライドショーの切替時間

	3 秒後に次の画像を表示します。
	5 秒後に次の画像を表示します。
	10 秒後に次の画像を表示します。
	▲/▼ ボタンを押し、スライドショーの切替効果を変更します。

スライドショーの切替効果

	タイル状に画像が切り替わります。
	次の画像が画面左から現れます。
	次の画像が画面右から現れます。
	次の画像が画面上から現れます。
	次の画像が画面下から現れます。
	▲/▼ ボタンを押し、スライドショーの繰り返し設定を変更します。

項目	項目説明
スライドショーの繰り返し設定	
<input type="checkbox"/> On	最後の画像表示後に再び最初の画像からスライドショーを実行します。
<input type="checkbox"/> Off	最後の画像表示後にスライドショーが終了し、サムネイル表示モードに戻ります。

インジケータの見かた

インジケータの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表にしたがいがい対処してください。

ON / STANDBY インジケータ

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	無信号時設定（ランプオフ）状態です（32 ページ）。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2 回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか（4 ページ、4 ページ）。 ・エアフィルターがつまっていないか（67 ページ）。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。（35 ページ）
6 回点滅	電源コードを抜き、ON / STANDBY インジケータが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
その他の点滅回数	ソニーの相談窓口にご相談ください。

LAMP / COVER インジケータ

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容にしたがって対処してください。
2 回点滅	ランプカバー、またはエアフィルターカバーが確実に取り付けられていません（65 ページ、67 ページ）。
3 回点滅	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（65 ページ）。

メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表にしたがいがい対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
セット内部温度が高いです。 1 分後にランプオフします。	以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアフィルターがつまっていないか。 ・設置設定の設置角度が正しく設定されているか。	4、4、35、 67
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	接続先の機器の外部出力設定を本機が対応している信号に変更してください。	74
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	「入力 A 信号種別」をオートまたは入力されている信号に合わせて設定してください。	32
フィルターを掃除してください。	エアフィルターを掃除してください。	67
ランプを交換し、フィルターを掃除してください。	ランプを交換し、エアフィルターを掃除してください。 メッセージは、ランプを交換してランプタイマーを初期化するまで、起動時に毎回表示されます。	65、67
本機内部の温度が高くなっていますので、高地モードを入に切り替えます。高地でご使用の際は、高地モードを入でお使いください。	高地（海拔 1500m 以上）で使用していない場合は、以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアフィルターがつまっていないか。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。	4、4、35、 67
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	—
操作キーロック中です！	操作キーロックが設定されています。	31
まもなく電源オフします。 I/⏻ キーで復帰できます。	I/⏻ ボタンが押され、まもなくシャットダウンされます。 I/⏻ ボタンをもう一度押すと、シャットダウンが取り消され、電源オン状態に戻ります。 すぐに電源オフにしたい場合は、I/⏻ ボタンを数秒間長押ししてください。	21

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
ランプ減光中	信号無変化時設定により、ランプ出力を低減させている時に表示されます。信号変化や操作（リモコンまたは操作部）を検出すると復帰します。	33

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	-
	「操作キーロック」が「入」になっていると、本体の I/⏻ ボタンで電源を入れることができません。	31
	ランプまたはランプカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	65
	エアフィルターまたはエアフィルターカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	67
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	9
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。 ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	17
	アプリケーション「USB Display」もしくは「Projector Station for Network Presentation」が起動していることを確認してください。	48、52
	接続している USB メモリーが、本機に対応していることを確認してください。	54
	入力が正しく選ばれていることを確認してください。	17
	BLANK ボタンが押され、映像消去されていないことを確認してください。	6
	アプリケーション「USB Display」もしくは「Projector Station for Network Presentation」が起動しない	本機と接続するコンピューターが、アプリケーションの動作環境に対応していることを確認してください。

症状	対処のしかた	ページ
コンピューターが本機と接続できない	・ 本機の有線 LAN 設定を確認してください。 ・ 無線の状態を確認してください。	32
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になっていると表示されません。	31
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	入力信号を正しく判定できないことにより、正しく表示されない場合があります。その場合は「アスペクト」の設定を手動で設定してください。	6、26、28
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利用して補正することができます。	6、20、35
画面が暗い／明るすぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。	24、32
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ランプ使用時間」を確認し、ランプを交換してください。	36、65
	「信号無変化時設定」が設定されている。	33
	消画中は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	33
画面が明るくなった／暗くなったりする	映像信号が入力されていない場合は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	-
	ランプ輝度を低減させている時間が長く続くと、一時的にランプ出力が上昇することがありますが故障ではありません。	-
画面がぼやける	ランプモードの設定が「オート」の場合、映像によりランプの輝度が変動します。	32
	フォーカスが当たっていることを確認してください。	18
画面にノイズが出る	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。	-
	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	9

症状	対処のしかた	ページ
音が出ない	再生する機器、または外部オーディオ機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	9
	外部オーディオ機器が正しく設定されていることを確認してください。	-
	「スピーカー」が「切」に設定されていると音が出ません。	30
	消音（ミュート）されていると音が出ません。	7
	音量が最小になっていないことを確認してください。	7、30
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。	-
	電池が消耗していないことを確認してください。	-
ファンの音が気になる	以下のような場合は、ランプなどをより冷却する必要があります。 ・ランプモードを「高」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している	32、35
	吸気口、排気口がふさがれていると内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。	4、4

ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合、またはインジケーターにランプ交換のお知らせが表示された場合は、新しいランプに交換してください。(59、60 ページ)
交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-E 212 (別売) をお使いください。

⚠ 警告

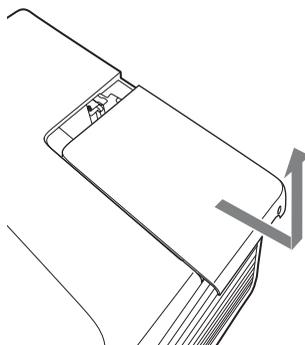
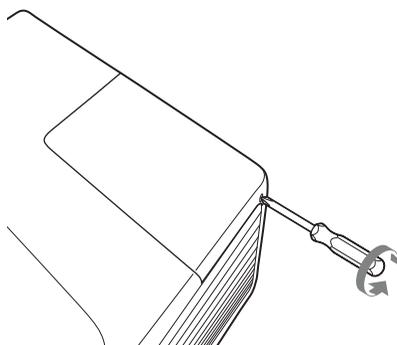
- ・電源を切った直後はランプが高温になっているため、**触れるとやけどの原因**となります。ランプを十分に冷やすため、**本機の電源を切ったあと 1 時間以上たってからランプを交換**してください。
- ・ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠ 注意

- ・ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ・ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾けずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるとけがややけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

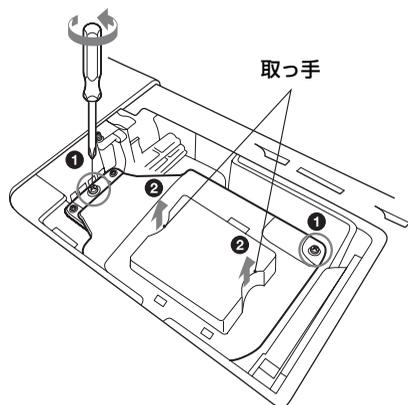
1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ (1 本) をゆるめ、ランプカバーを開く。

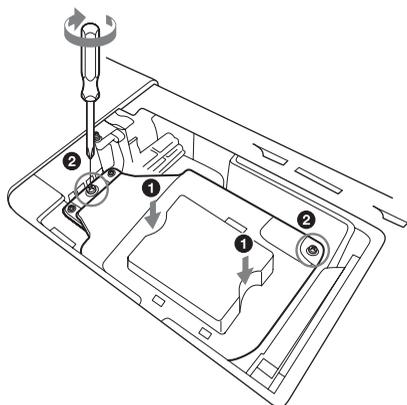


その他

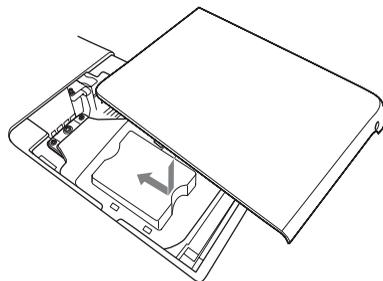
- 3 ランプのネジ (2本) をゆるめ、
取っ手を持ってランプを取り出
す。



- 4 新しいランプを確実に奥まで押し
込み、ネジ (2本) を締める。



- 5 ランプカバーを閉じ、ネジ
(1本) を締める。



で注意

ランプが確実に装着されていないと、
電源が入りません。

- 6 電源コードを電源コンセントに差
し込み、電源を入れる。

- 7 ランプタイマーの初期化を行う。

次回の交換時期をお知らせするため
に、ランプタイマーを初期化しま
す。機能設定メニューから「ランプ
タイマー初期化」を選び、ENTER
ボタンを押すとメッセージが表示さ
れます。「はい」を選ぶとランプタ
イマーを初期化します。(30 ページ)

エアフィルターを掃除する

投写画面に表示されるメッセージにエアフィルター掃除のお知らせが表示された場合は、エアフィルターを掃除してください（59 ページ、60 ページ）

エアフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアフィルターに交換してください。新しいエアフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

⚠ 注意

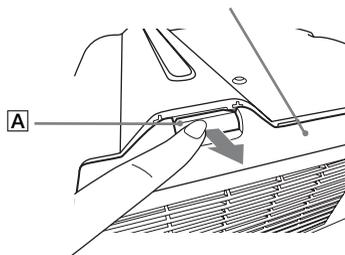
エアフィルターの掃除を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

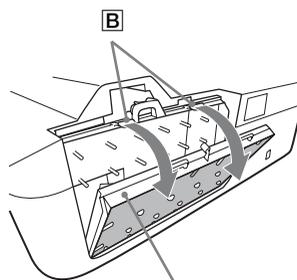
2 エアフィルターカバーを開けてエアフィルターホルダーを取り出す。

図のように **A** の部分を押ししてエアフィルターカバーを矢印の方向に開けてください。その後、中にあるエアフィルターホルダーを取り外してください。

エアフィルターカバー



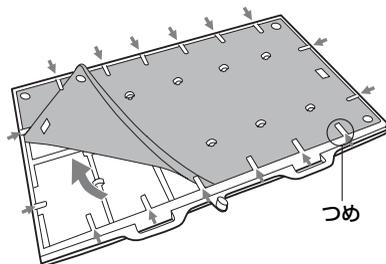
エアフィルターホルダーは、**B** の部分を押しして矢印の方向に取り外してください。



エアフィルターホルダー

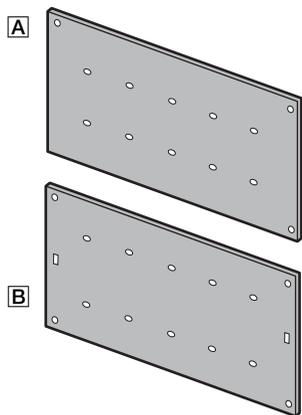
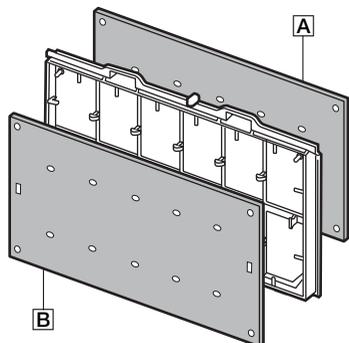
3 掃除機でエアフィルターを掃除する。

図のようにエアフィルターを取りはずし、エアフィルターを掃除機で掃除してください。



その他

エアフィルターは2枚重ね（**A**）、**B**）です。



4 エアフィルターカバーを元に戻す。

ご注意

エアフィルターカバーが確実に装着されていないと、電源が入りません。

仕様

項目	項目説明	
型名	VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526/ VPL-SX536	
投写方式	3LCD 方式	
表示素子	有効表示サイズ	VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526 : 0.75 型 (19.0 mm)、3 枚、アスペクト比 16 : 10 VPL-SX536 : 0.63 型 (16.0 mm)、3 枚、アスペクト比 4 : 3
	有効画素数	VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526 : 3,072,000 画素 (1280 × 800 ピクセル、3 枚) VPL-SX536 : 2,359,296 画素 (1024 × 768 ピクセル、3 枚)
投写レンズ	ズーム	手動ズーム 約 1.05 倍
	フォーカス調整	手動
光源	高圧水銀ランプ 210 W 型	
画面サイズ	VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526 : 70 ~ 130 型 (1.78 m ~ 3.30 m) VPL-SX536 : 60 ~ 110 型 (1.52 m ~ 2.79 m)	
有効光束 (明るさ) ^{*1}	VPL-SW536C/SW536 : 3100 lm VPL-SX536 : 3000 lm VPL-SW526C/SW526 : 2500 lm (ランプモード : 高)	
スピーカー	16W × 1 (モノラル)	
対応走査周波数 ^{*2}	水平 : 15 ~ 92 kHz、垂直 : 48 ~ 92 Hz	
表示可能解像度 ^{*2}	コンピューター信号入力時	最大入力解像度 : 1600 × 1200 ピクセル (リサイジング表示) パネル表示解像度 : VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526 : 1280 × 800 ピクセル VPL-SX536 : 1024 × 768 ピクセル
	ビデオ信号入力時	NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/50p
カラー方式	NTSC ^{3,58} 、PAL、SECAM、NTSC ^{4,43} 、PAL-M、PAL-N	

項目	項目説明
型名	VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526/ VPL-SX536
コンピューター／ 入力 A ビデオ入出力	RGB/Y Pb Pr 入力端子 ：ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 音声入力端子 ：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
入力 B	RGB 入力端子 ：ミニ D-sub 15 ピン 凹、RGB 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 音声入力端子 ：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
入力 C	HDMI 入力端子 ：HDMI 19 ピン、HDCP、HDMI audio 対応
S ビデオ入力	S ビデオ入力端子 ：ミニ DIN 4 ピン、Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、C 信号：(バースト信号) 0.286 (NTSC) /0.3 (PAL/SECAM) Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端 音声入力端子 ：ピンジャック×2、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
ビデオ入力	ビデオ入力端子 ：ピンジャック、1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端 音声入力端子 ：S ビデオ入力と共用
出力	モニター出力端子 ：ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 /Pb Pr 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：HD、VD 4 V (オープン)、1 Vp-p (75 Ω)、正負極性 音声出力端子 ：ステレオミニジャック、ステレオ、1 Vrms (ボリューム最大、500 mVrms 入力時)、出力インピーダンス 5 kΩ
その他の端子	RS-232C 端子 ：D-Sub 9 ピン凸 LAN 端子 ：RJ45、10BASE-T/100BASE-TX USB 端子 ：タイプ A USB 端子 ：タイプ B マイク端子 ：ミニジャック
使用温度 (使用湿度)	0～40℃ (35～85% (結露なきこと))

項目	項目説明
型名	VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526/ VPL-SX536
保存温度 (保存湿度)	- 20 ~ + 60 °C (10 ~ 90% (結露なきこと))
電源	VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526 : AC 100 V、3.0 A、50/60 Hz VPL-SX536 : AC 100 V、3.1 A、50/60 Hz
消費電力	VPL-SW536C/SW526C : 292 W VPL-SW536/SW526 : 291 W VPL-SX536 : 306 W
待機電力 (スタンバイモ ード)	0.5 W (スタンバイモード「低」時)
待機電力 (ネットワーク スタンバイモード)	VPL-SW536C/SW526C: 5.6 W (LAN) 5.9 W (optional WLAN module) 6.2 W (全てのネットワークポートが接続され、 全ての無線ネットワークポートが有効になってい る場合) VPL-SW536/SW526/SX536: 5.4 W (LAN) 5.7 W (optional WLAN module) 6.0 W (全てのネットワークポートが接続され、 全ての無線ネットワークポートが有効になってい る場合) (スタンバイモード「標準」時)
発熱量	VPL-SW536C/SW526C : 996 BTU/h VPL-SW536/SW526 : 993 BTU/h VPL-SX536 : 1,044 BTU/h
標準外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 384.4 × 161.1 × 423.4 mm 約 384.4 × 122.5 × 423.4 mm (突起部含まず)
質量	約 7.0 kg
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサ リ - *3*4	プロジェクターランプ LMP-E212 (交換用) USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3 インタラクティブペンデバイス IFU-PN200M/ PN200S

ご注意

- *1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にのって記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。
- *2 詳細は、対応信号表をご覧ください (74 ページ)。
- *3 ここに記載されている別売りアクセサリは、2014 年 10 月現在のものです。
- *4 別売アクセサリの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口を確認してください。

本機（別売アクセサリを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

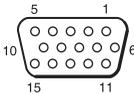
ピン配列

HDMI 端子 (HDMI、凹)



1	T.M.D.S. Data2 +	11	T.M.D.S. Clock Shield
2	T.M.D.S. Data2 Shield	12	T.M.D.S. Clock -
3	T.M.D.S. Data2 -	13	N.C.
4	T.M.D.S. Data1 +	14	RESERVED (N.C.)
5	T.M.D.S. Data1 Shield	15	SCL
6	T.M.D.S. Data1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. Data0 +	17	DDC GND
8	T.M.D.S. Data0 Shield	18	+5V Power
9	T.M.D.S. Data0 -	19	Hot Plug Detect
10	T.M.D.S. Clock +		

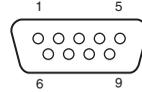
RGB 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン、凹)



1	映像入力 (赤) R	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 (緑) G	10	接地
3	映像入力 (青) B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地 (赤用)	14	垂直同期信号

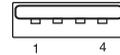
7	接地 (緑用)	15	DDC/SCL
8	接地 (青用)		

RS-232C 端子 (D-Sub 9 ピン、凸)



1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

USB 端子 (タイプ A、凹)



1	V_{BUS} (4.4 - 5.25 V)
2	Data -
3	Data +
4	Ground

USB 端子 (タイプ B、凹)



1	VCC (+5V)
2	Data-
3	Data+
4	Ground

その他

対応信号一覧 *1

コンピュータ信号

解像度	fH[kHz]/ fV[Hz]	入力端子		
		RGB/ YPbPr	HDMI	RGB
640 × 350	31.5/70	●		●
	37.9/85	●		●
640 × 400	31.5/70	●		●
	37.9/85	●		●
640 × 480	31.5/60	●	●	●
	35.0/67	●		●
	37.9/73	●		●
	37.5/75	●		●
800 × 600	43.3/85	●		●
	35.2/56	●		●
	37.9/60	●	●	●
	48.1/72	●		●
832 × 624	46.9/75	●		●
	53.7/85	●		●
	49.7/75	●		●
1024 × 768	48.4/60	●	●	●
	56.5/70	●		●
	60.0/75	●		●
	68.7/85	●		●
1152 × 864	64.0/70	●		●
	67.5/75	●		●
	77.5/85	●		●
1152 × 900	61.8/66	●		●
1280 × 960	60.0/60	●	●	●
1280 × 1024	64.0/60	●	●	●
	80.0/75	●		●
	91.1/85	●		●
1400 × 1050	65.3/60	●	●	●
1600 × 1200	75.0/60	●	●	●
1280 × 768	47.8/60		●	
1280 × 720	45.0/60	●	● ²	●
1920 × 1080	67.5/60		● ³	

解像度	fH[kHz]/ fV[Hz]	入力端子		
		RGB/ YPbPr	HDMI	RGB
1366 × 768	47.7/60	●	●	●
1440 × 900	55.9/60	●	●	●
1280 × 800	49.7/60	●	●	●

デジタル TV 信号 *4

信号名	fV[Hz]	入力端子	
		RGB/ YPbPr	HDMI
480i	60	●	●
576i	50	●	●
480p	60	●	●
576p	50	●	●
1080i	60	●	●
1080i	50	●	●
720p	60	●	●
720p	50	●	●
1080p	60		●
1080p	50		●

アナログ TV 信号

信号名	fV[Hz]	入力端子
		VIDEO/ S VIDEO
NTSC	60	●
PAL/SECAM	50	●

ご注意

- *1: ・表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- ・パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。

- *2：720/60p の動画配信信号として識別されます。
- *3：1080/60p の動画配信信号として識別されます。
- *4：同期付 G/Y 信号のみ対応。

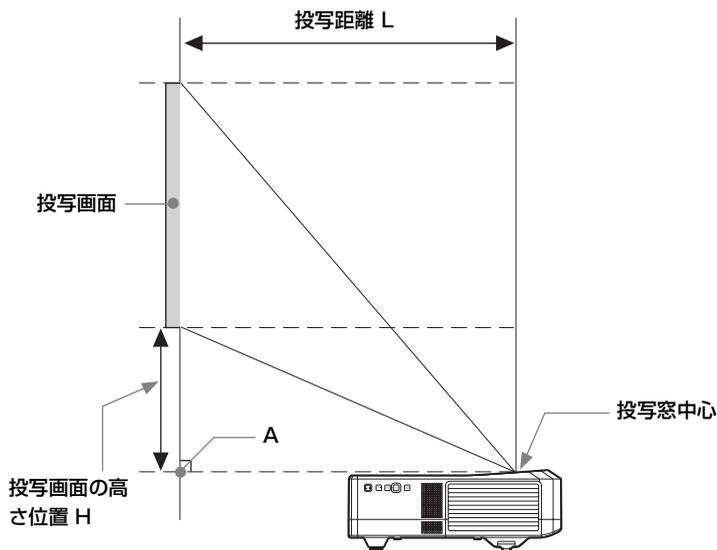


その他

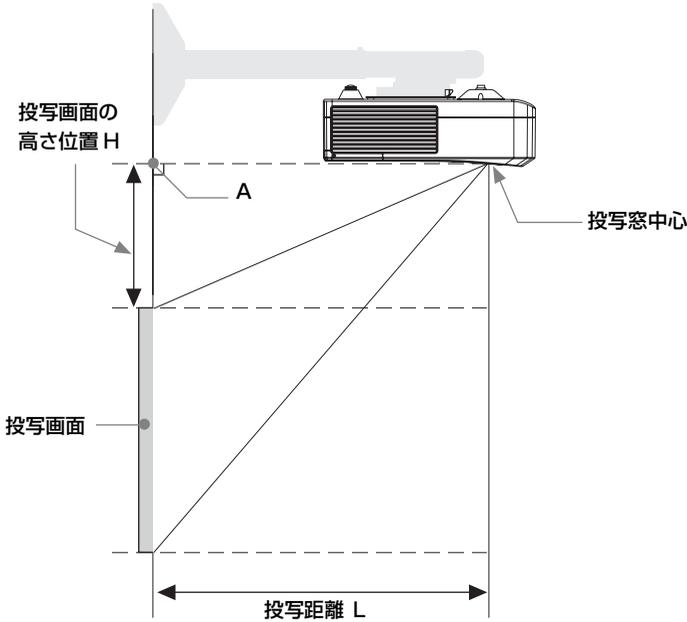
投写距離とレンズシフト量

投写距離は、投写窓中心から投写面までの距離です。投写する画面のサイズごとの投写距離と投写画面の高さ位置を示します。投写画面の高さは、投写窓中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 A）から投写画面の下端（壁設置時は上端）までの距離です。

床置き設置時



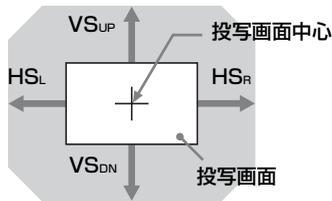
壁設置時



L：投写距離

H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

レンズシフト量は、投写画面の中心を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を100%とし、その距離をパーセントで表します。



網掛け：移動できる範囲

VS_{UP}：垂直レンズシフト量（上） [%]

VS_{DN}：垂直レンズシフト量（下） [%]

HS_R：水平レンズシフト量（右） [%]

HS_L：水平レンズシフト量（左） [%]

その他

投写距離表 (VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526)

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
70 型 (1.78m)	1.51 × 0.94	0.416-0.428	0.138
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	0.475-0.489	0.159
90 型 (2.29m)	1.94 × 1.21	0.534-0.550	0.179
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	0.594-0.611	0.200
130 型 (3.30m)	2.80 × 1.75	0.771-0.795	0.262

投写距離計算式 (VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526)

D：投写画面サイズ（対角）

H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

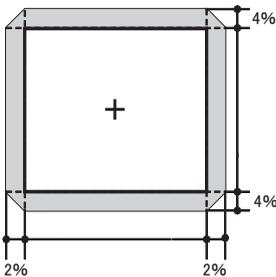
単位：m

投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
$L=0.005931 \times D-0.0001$	$L=0.006119 \times D-0.0001$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
$H=0.00207 \times D-0.00674$

レンズシフト量 (VPL-SW536C/SW526C/SW536/SW526)



$$VS_{UP}[\%]=VS_{DN}[\%]=4 - 2.000 \times (HS_R[\%] \text{ or } HS_L[\%])$$

$$HS_R[\%]=HS_L[\%]=2 - 0.500 \times (VS_{UP}[\%] \text{ or } VS_{DN}[\%])$$

投写距離表 (VPL-SX536)

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
60 型 (1.52m)	1.22 × 0.91	0.424-0.436	0.163
70 型 (1.78m)	1.42 × 1.07	0.495-0.509	0.192
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	0.566-0.581	0.220
90 型 (2.29m)	1.83 × 1.37	0.636-0.654	0.249
110 型 (2.79m)	2.24 × 1.68	0.778-0.800	0.305

投写距離計算式 (VPL-SX536)

D：投写画面サイズ（対角）

H：投写窓中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

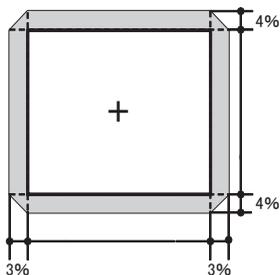
単位：m

投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
$L=0.007067 \times D-0.0001$	$L=0.007275 \times D-0.0001$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
$H=0.00284 \times D-0.00674$

レンズシフト量 (VPL-SX536)

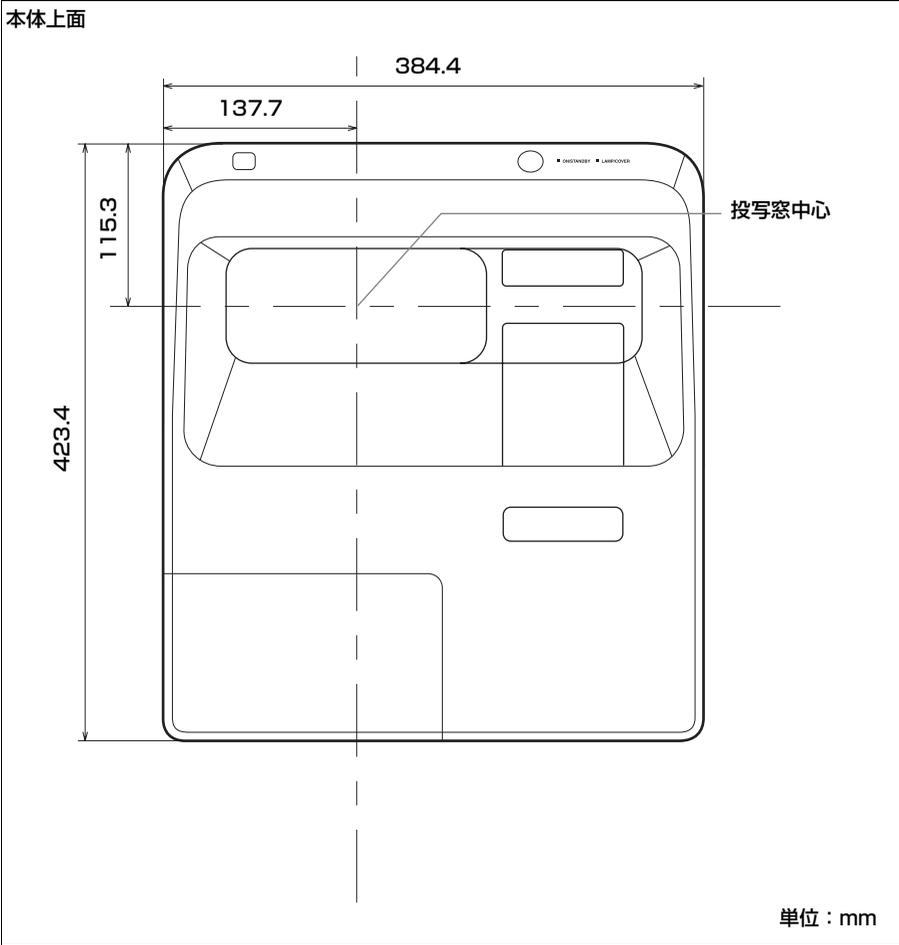


$$VS_{UP}[\%]=VS_{DN}[\%]=4 - 1.333 \times (HS_R[\%] \text{ or } HS_L[\%])$$

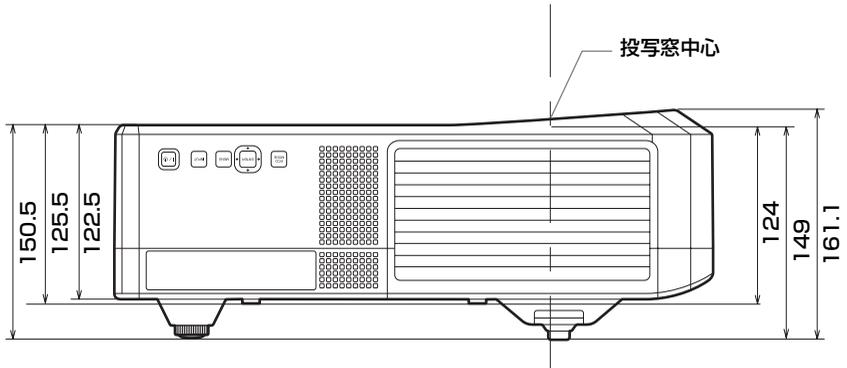
$$HS_R[\%] = HS_L[\%]=3 - 0.750 \times (VS_{UP}[\%] \text{ or } VS_{DN}[\%])$$

その他

寸法図

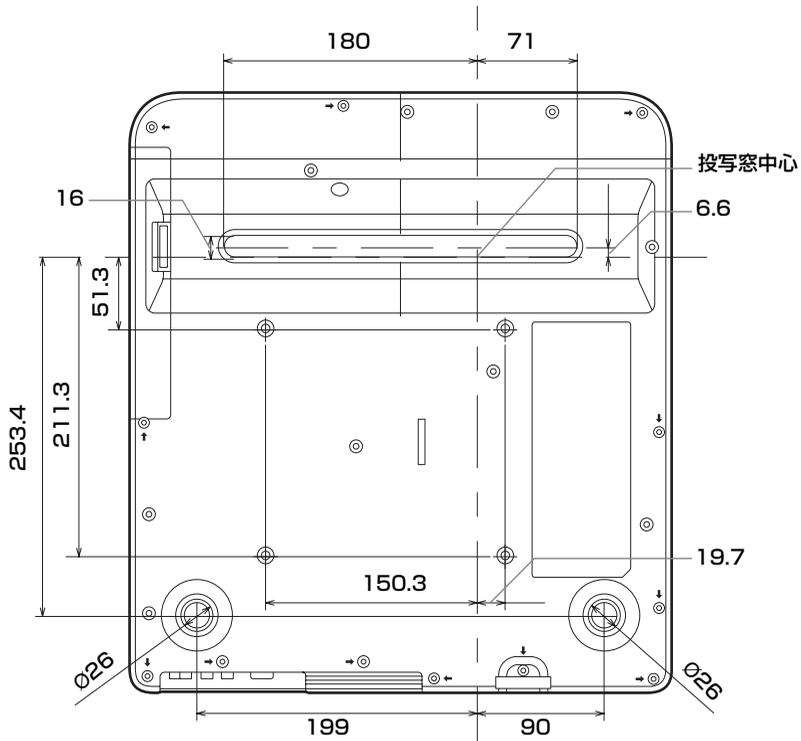


本体側面



単位：mm

本体底面



単位：mm

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → 「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

索引

あ

明るさ	24
脚	4, 19
アスペクト	6, 26, 28
色あい	24
色温度	24
色の濃さ	24
インタラクティブ機能	41
インタラクティブペンデバイス	8
エアフィルターカバー／吸気口	4
エアフィルターを掃除する	67
映像消去	6
映像を投写する	16
エコモード	7
音量	7

か

外部モニター、オーディオ機器との接続	15
各部の名前と働き	4
画質設定	24
画質モード	24
画像反転	35
画像反転連動	35
画面表示	31
画面モード	26
ガンマモード	24
機能設定	30
高地モード	35
故障かな？と思ったら	62
コントラスト	24
コントロール画面	37
コンピューターとの接続	9

さ

シャープネス	24
出力	5
仕様	69
消音	7
情報	36
シリアル No.	36
信号の種類	36

信号無変化時設定	33
垂直周波数	36
水平周波数	36
スタートアップイメージ	30
スマート APA	30
セキュリティロック	31
接続端子	5
接続端子部	4
接続／電源設定	32
設置設定	35
センサー受光窓	4
操作キーロック	31
操作設定	31
操作部	6

た

対応信号一覧	74
台形補正	6, 20
デジタルズーム	6
電源コンセント	5
電源を入れる	6, 16
電源を切る	6, 21
投写距離とレンズシフト量	76
盗難防止用バー	4
盗難防止ロック	4

な

入力	5
入力信号調整	27
入力を切り換える	6
ネットワーク機能を利用する	37, 48

は

排気口	4
ビデオ機器との接続	12
表示言語	31
ピン配列	73
フェーズ、ピッチ、シフト	27
フォーカス	18
フォーカスリング	4
フリーズ	7
別売りアクセサリ	71
保証書とアフターサービス	82
本体	4

ま

無信号時設定	32
メールレポート	39
メッセージ一覧	60
メニューの操作のしかた	22
モデル名	36

ら

ランプカバー	4
ランプ使用時間	36
ランプタイマー初期化	30
ランプを交換する	65
リモコン	6
リモコン受光部	4

A

APA	6
-----------	---

C

CC ディスプレイ	30
-----------------	----

H

H (水平)	27
--------------	----

L

LAMP/COVER インジケータ	4, 59
LAN 端子	5

P

Projector Station for Network Presentation	48
---	----

R

RS-232C 端子	5
------------------	---

U

USB Display	52
USB Media Viewer	54

商標について

- ・ Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- ・ HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- ・ AMX は、AMX Corporation の商標です。
- ・ Crestron RoomView は Crestron Corporation の商標です。
- ・ Mac、Mac OS は Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

よくあるお問い合わせ、窓口業務などはホームページをご利用ください。

<http://www.sony.jp/professional/support/>

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル **0120-788-333**

携帯電話・PHS・一部のIP電話など

フリーダイヤルがご利用になれない場合 ... **050-3754-9550**

FAX **0120-884-707**

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝日、および休業日は除く)

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>